AQUOS PHONE slider
SH-02D

取扱説明書　'11.11

docomo with series

はじめに

「SH-02D」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末はW-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、カレンダー、メモ、音声・伝言メモなど)は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

操作方法を確認する

■ **クイックスタートガイド(本体付属品)**

基本的な機能の操作について説明しています。

■ **取扱説明書(本端末のアプリケーション)**

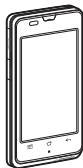
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で[⊜]▶[取扱説明書]
・ヘルプの表示：[MENU]▶[ヘルプ]

■ **取扱説明書(PDFファイル)**

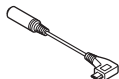
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

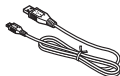
SH-02D本体
(保証書・リアカバー
SH57含む)

電池パック SH32

クイックスタート
ガイド

microSDカード
(2Gバイト)(試供品)
(取扱説明書付き)

- お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

PC用microUSBケーブル(試供品)
(取扱説明書付き)

FOMA 充電microUSB
変換アダプタ SH01

イヤホン変換アダプタ
(試供品)
(取扱説明書付き)

ワイヤレスチャージャー SH01(保証書付き)
<ワイヤレスチャージャー>　<専用ACアダプタ>

- オプション品については☞P.150

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-02D」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書ではタッチパネルでも端末のキーでも操作できる場合は、タッチパネル操作を優先して記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

目次

ご使用前の確認と設定

docomo Palette UI

電話/ネットワークサービス

各種設定

メール／インターネット

ファイル管理

アプリケーション

海外利用

付録／索引

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末はｉモード機能（ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fiテザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（☞P.158）。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.92
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[プロフィール]で確認できます。
- 本端末は、OSのバージョンアップにより機能が追加されたり、機能の操作方法が変更になったりすることがあります。この追加・変更に関する内容の最新情報は、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や、意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。

- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☞P.85）。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- mopera U、ビジネスmoperaインターネット（URL制限）およびspモード以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。microSDカードが挿入されていない場合、カメラで撮影した画像などが保存できない場合や、赤外線通信やBluetooth通信によるデータの送受信ができない場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	説明
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

本端末・電池パック・アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）・ワイヤレスチャージャー・ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能については下記をご参照ください。

☞P.21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

ワイヤレスチャージャーの表面や本端末のリアカバー、電池パックに金属製のもの(金属を含む材質のシールなど)を貼り付けないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーと、本端末や電池パックの間に、金属製のもの(金属を含む材質のストラップやクリップなど)を置かないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタ(充電microUSB変換アダプタを含む)の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 7.0 mV.

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について☞P.15「材質一覧」

指示

本端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止
端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止
電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止
火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止
落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示
ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止
一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止
濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）･ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠警告

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーには触れないでください。

感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ワイヤレスチャージャーに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発熱や発火、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）のコード、ワイヤレスチャージャー、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタや電源プラグをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂／UV塗装
受話口の周囲	PMMA樹脂／表面ハードコート
ディスプレイ面の裏側（スライドヒンジ）	SUS板金／表面焼き付け塗装
ディスプレイ面の裏側（キャビネットB）	AL合金／表面UV塗装
キャビネットBビスカバー	PET／裏面シルク印刷
ディスプレイ面の裏側周囲	PA樹脂／UV塗装
リアカバー	PC樹脂、ABS樹脂／UV塗装
リアカバーのパッキン	シリコンゴム
キー面	UVシート成型樹脂／裏面シルク印刷
キー面の裏側	PC樹脂、ABS樹脂／UV塗装
microSDカードスロット	PC樹脂／UV塗装
microSDカードスロットカバー	PC樹脂／UV塗装
microSDカードスロットカバーのパッキン	シリコンゴム
外部接続端子	PC樹脂／UV塗装
外部接続端子カバー	PC樹脂／UV塗装
外部接続端子カバーのパッキン	シリコンゴム

使用箇所	材質／表面処理
カメラ／赤外線ポートパネル	PMMA樹脂／表面ハードコート
ドコモminiUIMカードスロット	SUS
ドコモminiUIMカードレバー	46ナイロン
電池端子コネクタ本体	LCP
電池端子	銅合金／Ni下地、金メッキ
電池収納面	PET／SUS板金、Niメッキ
ネジ	鋼／Niメッキ、黒Niメッキ、三価クロメート
電池パック本体	PC樹脂／放電加工
電池パック端子部	銅合金／全面Ni下地メッキ、金メッキ
ワンセグアンテナ	SUS板金／焼き付け塗装
ワンセグアンテナの金属部分	SUS板金／Niメッキ
サイドキー	PC樹脂／UV塗装

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-02Dは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
  電池パック、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- 電池パック、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。

- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- キーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  故障、破損、誤動作の原因となります。
- 本端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。
  本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本端末のディスプレイ面の裏側にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。
- シールなどで本端末を装飾しないでください。
  ワイヤレスチャージャーで充電ができないことがあります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ■ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）・ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。
- 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。
- 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。
- ワイヤレスチャージャーと本端末の間に、金属製ストラップなどの金属類を挟んで充電しないでください。
- 本端末にアダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やPC用microUSBケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。
- 磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。

- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4:2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ■■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
④ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
⑤ ■■■ :2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
フランスなど、一部の国／地域では、無線LANの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

- **2.4GHz機器使用上の注意事項**
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘版シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- 本端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。
  自動的に電源が入る場合があります。

防水／防塵性能

SH-02Dは、外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにSH-02Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3　IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SH-02Dが有する防水／防塵性能でできること

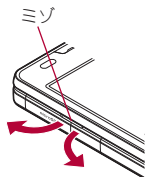
- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.25）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。

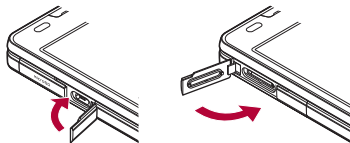
ご利用にあたって

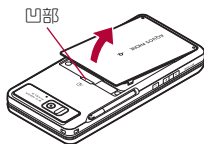
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- 外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- 外部接続端子カバーやmicroSDカードスロットカバー、リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

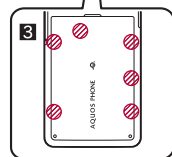
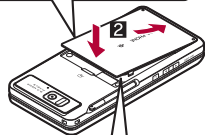
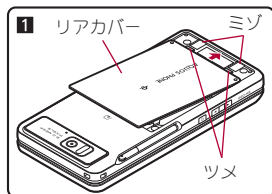
外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーの開きかた

ミゾに指をかけて、開けてください。

外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーの閉じかた

端末と外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーにすき間が生じないように、矢印の方向にしっかりと押して閉じてください。

リアカバーの取り外しかた

1 端末の凹部に指先をかけ、上方向に取り外す

リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの先のツメを端末のミゾに差し込み（1）、矢印の方向（2）に取り付け、両手でしっかりと押す（3）

- リアカバーの裏側にも、6箇所に取り付け用のツメが付いています。端末とリアカバーにすき間が生じないように、ツメの位置を上から両手でしっかりと押して取り付けてください。

- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。また、防水／防塵性能が損なわれ、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーは無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると破損するおそれがあります。無理な力を加えないようにしてください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず２年に１回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーの開閉はしないでください。
- 外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛１本、砂粒１つ、微細な繊維など)が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバー、リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中で端末を使用(ボタン操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定(☞P.21)以上の強い水流(６リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-02DはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(５℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間使用しないでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属のワイヤレスチャージャーSH01に端末を置いた状態の場合、専用ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

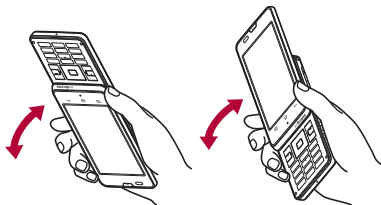
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

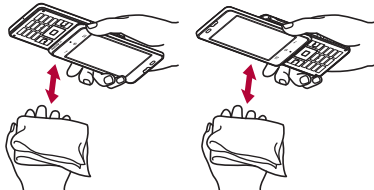
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

3 送話口、受話口、スピーカー、ボタン、スライド部などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

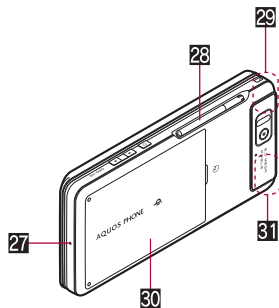
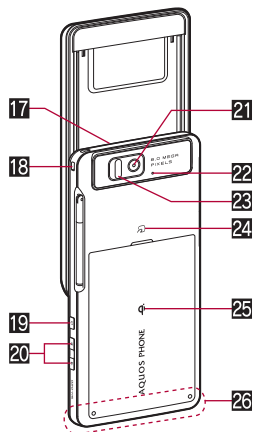
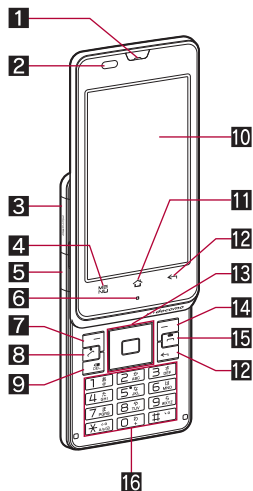
充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、ワイヤレスチャージャー SH01に置いたり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、ワイヤレスチャージャー SH01を使用して充電することをおすすめします。

- 端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 濡れた手で付属品、オプション品に触れないでください。感電の原因となります。
- 付属品、オプション品は、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

1 受話口

2 近接センサー／明るさセンサー※1
- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

3 microSDカードスロット

4 MENU：メニューキー
- 利用できる機能（メニュー）を表示します。

5 外部接続端子

6 着信／充電ランプ
- 利用中の機能や状況によって、点灯／点滅するランプは異なります。

7 左ソフトキー：左ガイダンスキー
- ガイダンスに表示される機能を選択／実行します。

8 通話キー：開始／通話キー
- 電話をかける／受けるときに押します。

9 DEL：DELキー
- 入力した文字や電話番号を削除します。

10 ディスプレイ／タッチパネル

11 ホーム：ホームキー
- ホーム画面のメインページを表示します。

12 戻る／戻る：戻るキー
- 1つ前の画面に戻します。

13 マルチ：マルチガイドキー
- カーソルを移動させて項目を選び、実行／決定します。

14 右ソフトキー：右ガイダンスキー
- ガイダンスに表示される機能を選択／実行します。

15 終話キー：終了／終話キー
- 表示中の機能を終了します。
- 電源を切るときや通話を終了するときに利用します。

16 1～9、＊、0、＃：ダイヤル／文字入力キー
- 電話番号や文字を入力します。

17 スピーカー
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

18 ストラップ取り付け口

19 電源：電源キー
- 電源を入れる／切るときなどに利用します。
- スリープモードの設定／解除に利用します。

20 ▲／▼：音量UP／DOWNキー
- 各種機能で音量を調節します。

21 カメラ

22 撮影ランプ
- カメラ起動中に点滅します。

23 赤外線ポート

24 FeliCaマーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。

25 Qiマーク
- 充電するときに、ワイヤレスチャージャーのQiマークと位置が重なるように端末をゆっくりと置いてください。

26 FOMAアンテナ※2

27 送話口／マイク

28 ワンセグアンテナ

29 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※2

30 リアカバー

31 GPSアンテナ※2

※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

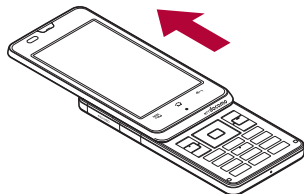
ディスプレイについて

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

イヤホンマイクについて

- イヤホン変換アダプタ（試供品）を使用することでイヤホンマイクを利用できます。
- 対応するイヤホンマイクについては次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/earphone_support_sh-02d.html

端末の開きかた

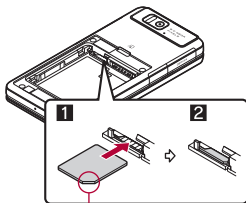
端末を開くときは、ディスプレイ側を図のようにスライドさせます。

- 端末を開くとタッチパネルのロックが解除されます。
- 端末を開くときは、[MENU]、[⌂]、[↵]に指が触れないようにご注意ください。誤動作の原因となります。
- アプリケーションによっては、端末のキーで操作できない場合があります。
- スライドオープン通話、スライドクローズ終話を設定している場合は、端末の開閉で通話／終話することができます（☞P.81）。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

- ドコモminiUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。端末は、両手でしっかり持ってください。

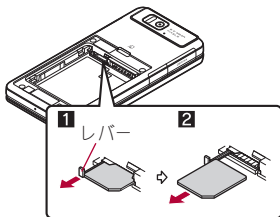
取り付けかた

1. **リアカバーを取り外す（☞P.23）**
2. **ドコモminiUIMカードのＩＣ（金色）面を下に向けて、ドコモminiUIMカードスロットにセットする（1）**
   - 奥まで差し込んでください（2）。

3 リアカバーを取り付ける(☞P.23)

取り外しかた

1 リアカバーを取り外す(☞P.23)

2 レバーを引いて、ドコモminiUIMカードを引き出し(1)、ドコモminiUIMカードをまっすぐ引き抜く(2)

- 取り外す際は、ドコモminiUIMカードを落とさないようにご注意ください。

3 リアカバーを取り付ける(☞P.23)

- レバーを無理に引っぱったり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモminiUIMカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したドコモminiUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

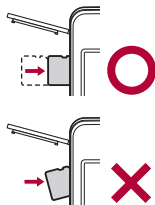
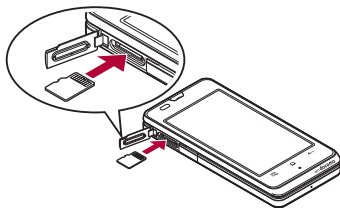
- SH-02Dでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています(2011年11月現在)。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/microsd_support_sh-02d.html
  掲載されているmicroSDカード以外については、microSDカードの製造メーカへお問い合わせください。
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。

- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（☞P.89）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外し（マウント解除後を含む）は、電源を切ってから行ってください。端末は、両手でしっかり持ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

取り付けかた

1 microSDカードスロットカバーを開く（☞P.22）

2 microSDカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.22）

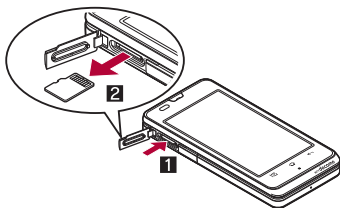
取り外しかた

1 microSDカードスロットカバーを開く（☞P.22）

2 microSDカードを軽く押し込む（1）

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

3 microSDカードを取り外す（2）

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

4 microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.22）

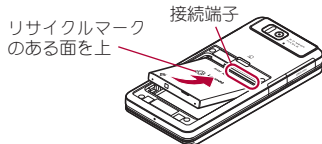
電池パック

- 電池パックは、本端末専用の電池パック SH32をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、両手でしっかり持って行ってください。

取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.23）

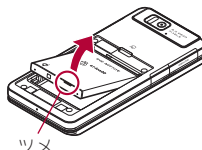
2 電池パックを取り付ける

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの接続端子を合わせて取り付けてください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.23）

取り外しかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.23）

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指をかけて上方向に取り外してください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.23）

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 外部接続端子カバーの閉め忘れによる水や粉塵の侵入を防ぐため、付属のワイヤレスチャージャー SH01を使用して充電することをおすすめします(☞P.35)。
- ACアダプタ(別売)やDCアダプタ(別売)で充電するには、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01、またはFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01(別売)が必要です。

充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

充電時間の目安とランプ表示

端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

FOMA ACアダプタ01/02	約240分
FOMA DCアダプタ01/02	約240分
ワイヤレスチャージャー SH01	約240分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- ワイヤレスチャージャー利用時に端末の電源が切れている場合は、充電開始時/充電完了時に充電ランプが赤色で点滅します。
- ACアダプタやDCアダプタ利用時に充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- ワイヤレスチャージャー利用時にチャージインフォメーションが青色で早く点滅したときは、ワイヤレスチャージャーと端末の間に異物がないか確認して端末を正しく置き直したり、電源プラグをコンセントに差し込み直したりしてください。
- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。

- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。その場合、チャージインフォメーションは青色でゆっくり点滅(約２秒点滅)します。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- チャージインフォメーションの見かたは次のとおりです。

表示状態	色	端末／電池パックの充電状態
点灯	青	充電中
消灯	－	充電完了※
１秒点滅(約１秒間隔)	青	端末／電池パックを認識中
早い点滅(約0.25秒間隔)	青	充電異常または故障
２秒点滅(約２秒点灯→約１秒消灯)	青	充電温度待機中

※ ワイヤレスチャージャーの上に端末／電池パックがない場合、あるいは認識されていない場合も消灯します。

十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	FOMA／3G 約310分 GSM 約380分
連続待受時間	FOMA／3G 静止時：約560時間(ネットワークモード：3G／GSM(自動)) GSM 静止時：約460時間(ネットワークモード：3G／GSM(自動))
ワンセグ視聴時間	約390分

- 利用可能時間について詳しくは☞P.166

電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに１回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- １回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ワイヤレスチャージャーで充電

- ⓠマークがあるドコモ提供の対応機器をワイヤレスチャージャーで充電することができます。ご使用になる対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ⓠマークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

- 各部の名称は次のとおりです。

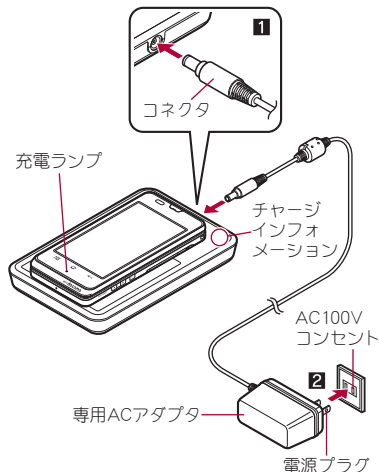
・ 充電アシストボタンは、充電が開始されない場合に、送電コイルを充電エリアの中央に移動し、充電開始させるためのボタンです。

1 専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーに差し込む（1）

- 奥まで確実に差し込んでください。
- 専用ACアダプタ以外は差し込まないでください。

2 専用ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（2）

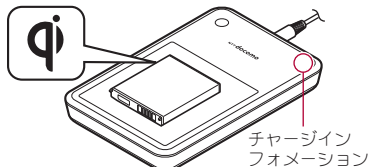
3 端末をワイヤレスチャージャーに置くと、充電ランプとチャージインフォメーションが点灯して、充電が開始する

- ⓠマークがある面を下に向けてワイヤレスチャージャーのⓠマークと電池パックの位置が重なるように端末をゆっくりと置いてください。
- 端末を閉じた状態でワイヤレスチャージャーに置いてください。
- チャージインフォメーションは、ゆっくり点滅（約1秒間隔）したあと、充電が始まります。

4 充電ランプとチャージインフォメーションが消灯すると、充電が完了する

- 端末をワイヤレスチャージャーから取り除いてください。

電池パックの充電

ワイヤレスチャージャーに電池パックを置いて、電池パックのみ充電することもできます。

- qiマークがある面を下に向けてワイヤレスチャージャーに置いてください。

- 安定した水平な場所にワイヤレスチャージャーを置いて充電してください。
- 長時間使用しないときは、専用ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ際や、端末／電池パックをワイヤレスチャージャーに置いたり、取り除いたりした際は、ワイヤレスチャージャーから音がする場合がありますが異常ではありません。
- 一度に複数の端末／電池パックを充電することはできません。
- 充電が開始されない場合は、充電エリアから取り外し、約２秒後に充電アシストボタンを押したあと、対応機器を充電エリアの中央に置き直してください（取り外さず、中央に滑らせた場合は、充電アシストボタンは機能しませんのでご注意ください）。
- 端末にカバーなどを装着していると、カバーなどの材質、厚みなどによっては充電できない場合があります。確実に充電するには、カバーなどから取り出してください。
- 使用中にテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、ワイヤレスチャージャーをテレビやラジオなどから遠ざけ、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ワイヤレスチャージャーの周辺で電子機器を使用すると充電できない場合があります。電子機器を使用する場合はワイヤレスチャージャーから30cm以上離してご使用ください。
- 充電中は、ワイヤレスチャージャーと端末／電池パックを動かさないでください。
- 端末を充電するときはバイブレータを動作させないでください。振動により端末の位置が動いたり、落下したりするおそれがあります。
- 市販のqiマークがある製品で端末を充電すると、充電中に着信しない場合があります。付属のワイヤレスチャージャー SH01で充電してください。

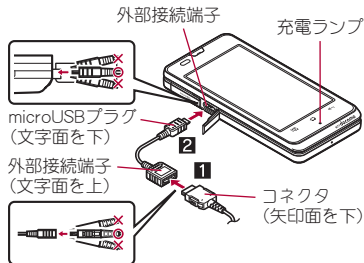
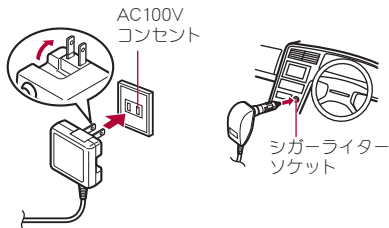
ACアダプタ／DCアダプタで充電

［必ずFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書を参照してください］

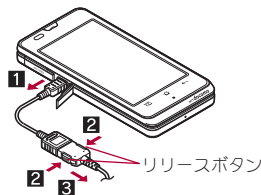
1 ACアダプタまたはDCアダプタをFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01の外部接続端子に水平に差し込む（1）

- コネクタの向き（表裏）をよく確かめ、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 端末の外部接続端子カバーを開き、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01のmicroUSBプラグを外部接続端子に水平に差し込む(2)

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。
- 次の図はFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01の取り付け例です。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

ACアダプタの場合　　DCアダプタの場合

4 充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- 充電が終わったら、microUSBプラグを端末から水平に抜いてください(1)。
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01からコネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押したまま(2)、コネクタを水平に抜いてください(3)。

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグ、コネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時、端末の周りに物などを置かないでください。端末に傷を付けるおそれがあります。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02の取扱説明書をご覧ください。

PC用microUSBケーブルで充電

端末の電源が入っているときに、端末とパソコンをPC用microUSBケーブル(試供品)で接続すると、端末を充電することができます。

- あらかじめ、パソコンにUSBドライバをインストールしておいてください。
  - USBドライバのインストールについては、次のサイトのPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-02d/download/usb/index.html
- パソコンとの接続方法については☞P.112

電源ON／OFF

電源ON

1 **⏻(2秒以上)**

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます(☞P.42)。
- ドコモサービスの初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

電源OFF

1 **⏻(1秒以上)▶[電源を切る]▶[OK]**

スリープモード

⏻を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

スリープモード中に⏻を押すと、スリープモードが解除されます。

タッチパネルのロック

電源を入れたときやスリープモードを解除したときはタッチパネルがロックされています。
[ ]を[ ]までドラッグすると、ロックが解除されます。

タッチパネルのロック解除画面のキー操作

- マナーモード設定／解除：（1秒以上）
- 電源を切る：（2秒以上）

- 未確認の不在着信などがあった場合、ロック解除画面にアイコンが表示されます。アイコンを上にスライドしてタッチパネルのロックを解除すると対応した画面が表示されます。

基本操作

タッチパネルの操作

タッチパネル（ディスプレイ）を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■ 手袋をしたままでの操作
  - ■ 爪の先での操作
  - ■ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■ 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ■ タッチパネルが濡れたままでの操作
  - ■ 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチ

画面に表示されるキーや項目をタッチして、選択・決定を行います。

1 タッチパネルに触れて、指を離す

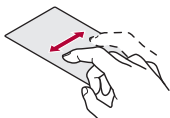
ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。

1 タッチパネルに触れたままにする

スライド／ドラッグ

メニュー表示中などに上下にスライドして画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどに触れたまま、目的の位置までスライド（ドラッグ）して移動したりできます。
また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるようにスライドすると、選択を中止できます。

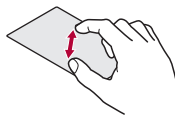
1 **タッチパネルに触れたまま、指を動かす**

フリック

ホーム画面などで左右にフリックすると、ページの切り替えができます。

1 **タッチパネルをはらうように指を動かす**

ピンチアウト／ピンチイン

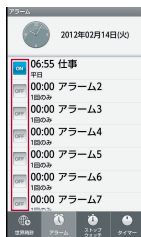
画像表示中などにピンチアウト／ピンチインすると、画像の拡大／縮小ができます。

1 **2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かす**

機能利用中の操作

設定の切り替え

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタッチすることで設定の有効／無効や［ON］／［OFF］を切り替えることができます。

例：サウンド設定画面、アラーム画面

- ［☑］は有効、［☑］は無効の状態です。

メニューを呼び出す

[MENU]をタッチしたり画面をロングタッチしたりすると、その画面で利用できる機能（メニュー）が表示されます。

例：待受画面

設定項目リスト

縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（☞P.83）。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリケーションによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットを撮影

⊡＋[⌂]で、表示中の画面をmicroSDカードに保存できます。

- 撮影時にシャッター音が鳴ります。

- ワンセグやホームネットワーク、電子書籍の表示中などは保存できません。また、YouTubeなど動画再生中は映像部分が保存できません。
- アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

ガイダンス

アプリケーションによっては、端末を開いたときにガイダンスが表示され、⊟や⊟、⊙で操作することができます。

例：文字入力

- 対応するキーを押して機能を選択／実行できます。

例：コンテンツマネージャー

- 対応するキーを押して表示を切り替えることができます。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面で[⊜]▶[検索]

- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力

1 検索対象選択
- 検索する対象の範囲を設定できます。
  - ・表示する検索対象を変更するときは［⚙］をタッチします。

2 検索ボックス
- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリケーションやデータなどを検索し、一覧表示します。

3 音声検索切替

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリケーションの場合は対応するアプリケーションが起動します。

検索設定

1 クイック検索ボックスで［MENU］▶［検索設定］

2 項目を選ぶ

- ■ Google検索の設定：Google検索について設定します。
- ■ 検索対象：検索する対象の範囲を設定します。
- ■ ショートカットを消去：クイック検索ボックスでの検索履歴を削除します。

初期設定

1 ホーム画面で［⊜］▶［設定］▶［初期設定］

2 日付・時刻を設定（☞P.92）▶［次へ］

3 位置情報について設定（☞P.85）▶［次へ］

4 鮮やか表示モードを設定（☞P.84）▶［次へ］

5 Wi-Fi設定を設定（☞P.43）

6 Googleアカウントを設定（☞P.46）

7 プロフィールを設定（☞P.80）

8 ［完了］

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面で［⊜］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］

アクセスポイントを追加で設定

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で［⊜］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］▶［MENU］▶［新しいAPN］

2 ［名前］▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶［OK］

3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[MENU]▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[MENU]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U(スマートフォン定額)]/[mopera U 設定]

- mopera U 設定はmopera U 設定用アクセスポイントです。mopera U 設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U 設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- mopera U(スマートフォン定額)をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Wi-Fi設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- Wi-Fi機能を有効にしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的に3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を有効にしてから設定してください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]

2 項目を選ぶ

■ Wi-Fi:Wi-Fi機能を有効にします。
■ ネットワークの通知:Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知します。
■ Wi-Fiのスリープ設定:Wi-Fiをスリープに切り替えるタイミングを設定します。
■ Wi-Fi簡単登録:WPSに対応しているアクセスポイントを登録します。
■ 公衆無線LAN自動ログイン:docomo Wi-Fiエリアに入ったときに、自動でログインするように設定できます。
■ Wi-Fiネットワークを追加:WPSに対応していないアクセスポイントを手動で登録します。

- 「Wi-Fiネットワーク」の項目に接続可能なアクセスポイントが表示されます。利用するアクセスポイントを選ぶ▶[接続]で接続できます。
  - セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力してください。

[Wi-Fi簡単登録]について

- 登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

[公衆無線LAN自動ログイン]について

- docomo Wi-Fiをご利用になるには別途ご契約が必要です。
- サービスエリアによっては、一部、自動ログイン機能をご利用になれない場合があります。
- 自動ログインを[ON]に設定すると、サービスエリアに入ったときに自動でログインします。Mzone日額プランをご契約のお客様は、自動ログインを[ON]に設定すると高額請求が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 将来、docomo Wi-Fiの拡張変更が行われた場合、その内容によっては本機能がお使いになれない場合があります。この場合は、ブラウザでログインしてください。

[Wi-Fiネットワークを追加]について

- セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。

詳細設定

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]▶[MENU]▶[詳細設定]**

2 **項目を選ぶ**

■ 静的IPを使用する:静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続するか設定します。
■ IPアドレス:IPアドレスを設定します。
■ ゲートウェイ:ゲートウェイを設定します。
■ ネットマスク:ネットマスクを設定します。
■ DNS 1:DNS 1を設定します。
■ DNS 2:DNS 2を設定します。

● 詳細設定から、MACアドレスとIPアドレスを確認できます。

切断

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]**

2 **接続しているアクセスポイントを選ぶ▶[切断]**

• パスワードを保持したまま切断します。

● Wi-Fi機能を無効にして切断した場合、接続していたアクセスポイントに接続可能なときはWi-Fi機能を有効にすると自動的に接続されます。

Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

● 同時に接続できるWi-Fi対応機器は5台までです。
● FOMAサービスの圏内で利用できます。ただし、通信環境やネットワークの混雑状況によっては利用できない場合があります。
● ドコモminiUIMカードを挿入していない場合や、FOMAサービスの解約や利用を休止している場合は利用できません。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[テザリング]**

2 **項目を選ぶ**

■ Wi-Fiテザリング:Wi-Fiテザリングを有効にします。
  ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。
■ Wi-Fiテザリングの設定:ネットワークSSIDやセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
  ・[Wi-Fiアクセスポイントを設定]▶各項目を設定▶[保存]でWi-Fiアクセスポイントを設定できます。必要に応じて、セキュリティを設定してください。セキュリティはWPA2 PSKに対応しています。
■ ヘルプ:ヘルプを表示します。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレス、パスワードを入力▶[次へ]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

3 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[完了]

- 最初に登録したアカウントが、自動的に優先して使用するアカウントとして登録されます。変更する場合は、優先したいアカウントの設定画面で[優先アカウントにする]を有効にしてください。
- アカウントのタイプがExchangeのときに受信メールサーバーの設定を手動で行う場合、利用するプロバイダによっては「ドメイン¥ユーザー名」の項目に「¥ユーザー名ドメイン」と入力する必要があります。詳しくはサーバー管理者にお問い合わせください。

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- アカウントが必要となるアプリケーションを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

アカウントの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[アカウントと同期]

2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ブラウザ]

2 URL入力欄に「http://www.google.co.jp/」を入力▶[→]▶[その他]▶[ログイン]▶[アカウントにアクセスできない場合]▶画面に従って操作

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。

お知らせアイコン	不在着信や新着メールなどをお知らせします。
ステータスアイコン	現在の時刻や電池残量など端末の状態を表します。

主なお知らせアイコン一覧

- 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、お知らせアイコンに件数が重なって表示されます。

:不在着信あり

:新着SMSあり

:新着メールあり

:新着Gmailあり

:新着インスタントメッセージあり

:エラー表示
- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

:アラーム終了
- アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。

:カレンダーのスケジュール通知あり

ワンセグ情報あり
:ワンセグ視聴情報あり
:ワンセグ録画情報あり

:音楽再生中

:USBデバッグ接続中

通話表示
(緑色):発信中／着信中／通話中
(青色):Bluetooth機器で通話中
:保留中

:伝言メモあり

:留守番電話の伝言メッセージあり

microSDカード表示
:スキャン中
:マウントを解除したとき

:端末のメモリの空き容量が10%以下のとき

Bluetooth表示
:Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
:データ受信要求あり

USB接続表示
:USB接続(カードリーダーモード接続時)
:カードリーダーモード
:高速転送モード

データアップロード／ダウンロード表示
:アップロード中
:アップロード完了
:ダウンロード中
:ダウンロード完了

:アプリケーションのインストール完了

Wi-Fi表示
:オープンネットワークあり
:Wi-Fi情報通知あり
:Wi-Fi接続制限あり

:Wi-Fiテザリングが有効

VPN表示
:接続中
(グレー):未接続

:アプリケーションのアップデートあり

:OSバージョンアップあり

ソフトウェア更新表示
:ソフトウェア更新あり
:ソフトウェア更新完了

:表示されていないお知らせアイコンあり

エコ技設定表示
:技ありモード
:お助けモード

主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中

電池残量表示
～:約100%～約5%
:約0%
:残量不明
- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。

電波状態表示
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0
:圏外
- 国際ローミング中は電波マークの左上に[R]が表示されます。
- Googleアカウントを設定(同期)している場合は緑色になります。

:電波OFF(機内)モード設定中

3Gデータ通信状態表示
:3G使用可能
:3Gデータ受信中
:3Gデータ送信中
:3Gデータ送受信中
- Googleアカウントを設定(同期)している場合は緑色になります。

GSMデータ通信状態表示
:GSM使用可能
:GSMデータ受信中
:GSMデータ送信中
:GSMデータ送受信中
- Googleアカウントを設定(同期)している場合は緑色になります。

:ドコモminiUIMカードが未挿入、またはドコモminiUIMカードロック中

:おサイフケータイ ロック設定中

文字入力モード表示
:ひらがな漢字
:全角カタカナ
:半角カタカナ
:全角英字
:半角英字
:全角数字
:半角数字
:区点コード

マナーモード表示
:通常マナー
:ドライブマナー
:サイレントマナー

:スピーカーで通話中

:マイクOFFに設定中

Wi-Fi電波状態表示
:レベル 4
:レベル 3
:レベル 2
:レベル 1
:レベル 0
● Googleアカウントを設定(同期)している場合は緑色になります。

Bluetooth表示
:待機中
:接続中

:GPS測位中

:データ同期中

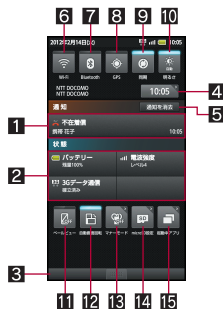
伝言メモ表示
:伝言メモ設定中で伝言メモが 0 件
:伝言メモ設定中で伝言メモが 1 ～ 9 件
:伝言メモ設定中で伝言メモが10件

ホームネットワーク表示
:停止中
(緑色):準備中
(青色):動作中

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーをタッチ

● ステータスバーを下にドラッグしても操作できます。

2 ステータスパネルを利用

1 お知らせアイコン詳細情報
● 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

2 ステータスアイコン詳細情報
● 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

3 閉じるバー
● タッチするか、上にドラッグすると、ステータスパネルを閉じることができます。

4 時計
- タッチすると「時計」アプリケーションを起動できます。

5 通知を消去
- タッチするとお知らせアイコン詳細情報とお知らせアイコンを消去します。

6 Wi-Fi機能の使用
- Wi-Fi機能の有効／無効を切り替えます。

7 Bluetooth機能の使用
- Bluetooth機能の有効／無効を切り替えます。

8 GPS機能の使用
- GPS機能の有効／無効を切り替えます。

9 自動同期の設定
- 自動同期の有効／無効を切り替えます。

10 画面の明るさの設定
- 画面の明るさについて設定します。

11 ベールビュー
- ベールビューを設定できます。

12 自動画面回転
- 端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるかを設定します。

13 マナーモード
- マナーモードを設定できます。

14 microSD設定
- microSDカードの空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。

15 起動中アプリ
- 起動中の機能を一覧表示します。
- 起動中の機能の操作（マルチタスク）については☞P.50

マルチアシスタント（マルチタスク）

機能を利用中に[⌂]をタッチするなどして利用を中断した場合、機能は終了せずにバックグラウンドで起動している状態となります。
マルチアシスタント（マルチタスク）を利用して、起動中の機能を一覧表示し、利用する機能を切り替えることができます。

1 ステータスバーをタッチ▶[⧉]
- [⌂]（1秒以上）でも操作できます。

2 利用する機能を選ぶ

1 すべて終了
- 起動中の機能をすべて終了します。

2 機能終了
- 選択した機能を終了します。

- メモリの使用状況やアプリケーションによっては、バックグラウンドで起動中の機能が終了する場合があります。また、メモリの使用状況によってマルチアシスタント（マルチタスク）画面の起動中機能の表示が変わる場合があります。

文字入力

キーボードの見かた

- 次の２種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	１つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーをタッチするたびに文字が切り替わります。 ● 文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力することもできます。

QWERTYキーボード

12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 文字入力キー
- 文字や数字を入力します。
- 文字入力キーは入力モードや大文字／小文字の設定に応じて表示が切り替わります。

2 英字／シフトキー
- ひらがな漢字入力モードのときは、タッチすると半角英字を入力できます。
- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
  - ・[⇧]が表示されているときは小文字が入力されます。[⇧]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[⇧]が表示されているときは大文字が入力されます。
  - ・大文字／小文字を切り替えると、入力できる記号も変わります。

3 文字キー
- 入力モードを変更するときにタッチします。
  - ・タッチすると、ひらがな漢字→半角英字→半角数字の順に、入力モードが切り替わります。
- ロングタッチすると、キーボードが切り替わります。

4 削除キー
- カーソル左側の文字を消します。カーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、文字にカーソルがあたっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 エンター／実行キー
- 入力した文字を確定または改行します。
- アプリケーションによっては、検索の実行などができます。

6 記号キー
- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
  - ・アプリケーションによっては、入力できないものがあります。

7 設定キー
- 設定メニューを表示します。

- ロングタッチすると、手書き入力を起動します。

8 スペース／変換キー
- 半角スペースを入力します。
- 入力した文字を変換します。

9 カーソルキー
- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

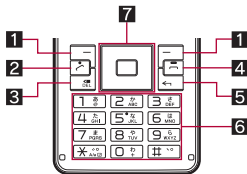
10 逆トグル／Undoキー
- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- 直前に行った操作を取り消します。

11 スペースキー
- 半角スペースを入力します。
- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点をつけるときにタッチします。

キーボードの切替

例：縦表示のとき

1 文字入力画面で[🔧]▶[QWERTYキーボードに切替[縦画面]]／[12キーボードに切替[縦画面]]

端末のキー操作

1 ⊡／⊡：左ガイダンスキー／右ガイダンスキー
- ガイダンスについては☞P.41

2 ⊡：開始／通話キー
- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- 直前に行った操作を取り消します。

3 ⊡：DELキー
- カーソル左側の文字を消します。カーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、文字にカーソルがあたっている場合はカーソル位置の文字を消します。

4 ⊡：終了／終話キー
- 文字入力を終了します。

5 ⊡：戻るキー
- 1つ前の画面に戻します。文字入力中の場合、未確定の文字を消します。

6 1～9、⊠、0、#：ダイヤル／文字入力キー
- 文字や数字を入力します。

7 ⊠⊡：マルチガイドキー
- 項目の選択や入力した文字の確定、カーソルの移動ができます。

- 文字入力中に⊡を押すと、アプリケーションによっては、入力した文字が保存されずに消去されますのでご注意ください。

文字入力の設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]

2 項目を選ぶ

- キー操作音：文字入力時の操作音の有無を設定します。
- キー操作バイブ：文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。
- キー入力ガイド表示：選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。

- キーボードイメージ:キーボードのデザインを設定します。
- 各種設定:手書き入力について設定します。
- ローマ字キーボード補助:ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- フリック入力:12キーボードでの入力時にフリック入力を利用するか設定します。
- フリック感度:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- トグル入力:フリック入力有効時もトグル入力を可能にするか設定します。
- 予測変換:予測変換を利用するか設定します。
- ワイルドカード予測:ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- 入力ミス補正:入力ミスを補正して予測変換を表示するためのキーを表示するか設定します。
- つながり予測:入力確定直後につながり予測変換候補を表示します。
- 候補表示行数:変換候補欄の行数を設定します。
- 絵記号リスト列数:絵文字・記号リストの列数を設定します。
- 外部変換エンジン:外部の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- 自動カーソル移動:文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- 自動大文字変換:英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- 自動スペース入力:英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。
- 音声入力:音声入力機能を有効にするか設定します。
- 日本語ユーザー辞書:日本語ユーザー辞書の単語を編集します。
- 英語ユーザー辞書:英語ユーザー辞書の単語を編集します。
- 学習辞書:学習辞書について設定します。
- ダウンロード辞書:ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- 電話帳名前データと連携:電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。
- 設定リセット:iWnn IME - SH editionの設定をリセットします。
- 顔文字リセット:顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

キーボードで入力

例:「文字」と入力するとき

1 **文字入力画面で「もじ」と入力**

2 **[変換]**

3 **変換候補欄で「文字」を選ぶ**

1 拡大/縮小
- 変換候補欄を拡大/縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- 入力した文字列によっては[補正]が表示されます。タッチすると入力間違いを補正した変換候補が表示されます。

3 変換

- 変換候補を選びます。

4 確定

- 変換を確定します。

端末のキーで入力

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力

- もじ:7(5回)▶3(2回)▶*(1回)

2 [キー]

3 「文字」を選ぶ

ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめワイルドカード予測を有効にしてください(☞P.52)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのとき利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [→]▶[→]▶[→]

- [→]をタッチするたびに[*]が入力され、文字数に合わせた予測変換候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で[🔧]▶[文字種切替]▶[区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

音声で入力

音声で文字を入力することができます。

- あらかじめ音声入力を有効にしてください(☞P.52)。

1 文字入力画面で[🔧]▶[音声入力]▶[OK]

2 送話口に向かって話す

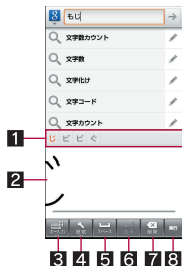
- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  - ■声が大きすぎる場合
  - ■周囲の雑音が大きい場合
  - ■発声が明瞭でない場合
  - ■発声が不自然な場合
  - ■発声速度が速すぎる場合
  - ■キーを押したり、送話口を触ったりした場合

手書き入力

手書きで文字を入力することができます。

1 **文字入力画面で[🔧]▶[手書き入力]▶[OK]**

2 **文字入力部分に文字・記号を手書き入力**

- 表示された候補を入力:候補をタッチ

1 入力候補欄

2 入力部分

3 キーボードに切替

4 設定キー

- 認識モードの切り替えや、手書き入力の設定などができます。

5 スペースキー

6 改行キー

7 削除キー

8 実行キー

- アプリケーションによっては表示されません。

- 手書き入力する場合は、ゆっくりと明瞭に入力してください。

テキスト編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作をしたり、入力ソフトを切り替えたりできます。

1 **文字入力欄をロングタッチ**

- 文字入力欄をタッチして、範囲選択/貼り付け/全選択を行うこともできます。

2 **利用する機能を選ぶ**

■ 語句を選択(コピーなど):スライダーを動かして入力した文字の選択範囲を指定し、切り取り/コピー/貼り付けができます。

■ すべて選択:入力したすべての文字を選択し、切り取り/コピー/貼り付けができます。

■ 貼り付け:選択した文字を貼り付けられます。

■ 入力方法:入力ソフトを切り替えられます。

■ 辞書に「xxx」を追加:入力した文字を辞書に追加できます。

・「xxx」には入力した文字が表示されます。

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面の見かた

電源を入れると、ホーム画面が表示されます。ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやクイックメニューを選択してアプリケーションを起動したりすることができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

1 インジケータ
- 表示しているページを[◉(赤色)]で表します。
- メインページを[◉(黒色)]で表します。
- パーソナルエリアを[◙]で表示します。

2 ショートカット
- よく使うアプリケーションをすばやく起動できます。

3 アプリケーション画面表示
- アプリケーション画面を表示します。

4 ウィジェット
- カレンダーやミュージックプレーヤー、歩数計など、簡単な機能を利用できます。
- Webページウィジェットを利用すると、よく使うサイトにすばやく接続できます。
- Android標準のウィジェットに対応しています。

5 フォルダ
- フォルダを追加すると、フォルダ内のデータをすばやく表示したり、ショートカットをフォルダに格納したりできます。

6 クイックメニュー
- ショートカットを設定すると、ホーム画面のどのページからもすばやくアプリケーションを起動できます。
- パーソナルエリアには表示されません。

- ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面一覧を表示します。

ホーム画面の管理

ショートカットなどの追加

ホーム画面には、ショートカットやウィジェットなどを貼り付けることができます。

1 ホーム画面で[MENU]▶[追加]

2 追加する項目を選ぶ

- ■ ショートカット：アプリケーションへのショートカットを追加します。
- ■ ウィジェット：ウィジェットを追加します。
- ■ フォルダ：フォルダを追加します。
- ■ きせかえ：きせかえについては☞P.57
- ■ 壁紙：壁紙については☞P.57
- ■ グループ：グループへのショートカットを追加します。

● microSDカードに保存されたウィジェットは、貼り付けられない場合があります。

クイックメニューの設定

クイックメニューにショートカットを設定することができます。

● クイックメニューには最大3個までショートカットを設定できます。

1 ホーム画面でショートカットをロングタッチ

2 クイックメニューまでドラッグ

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- ページの端までドラッグすると、前／次のページが表示され、前／次のページに移動できます。

ショートカットなどの削除

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 [削除]

- ショートカットなどを[🗑]までドラッグしても削除できます。

ショートカットやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面でショートカット／ウィジェットをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]

フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダをロングタッチ

2 [名称変更]

3 フォルダ名を入力▶[OK]

きせかえの変更

1 ホーム画面で[MENU]▶[追加]▶[きせかえ]

2 きせかえを選ぶ▶[設定する]

壁紙の変更

1 ホーム画面で[MENU]▶[追加]▶[壁紙]

2 データを選ぶ▶[壁紙に設定]

- [ギャラリー]または[コンテンツマネージャー]の場合は、切り取る部分を選び、[保存]を選択してください。

ページの管理

ページの追加

● ページは最大12ページまで追加できます。

1 ホーム画面でピンチイン▶[+]

ページの並べ替え

1 ホーム画面でピンチイン▶サムネイルをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

ページの削除

1 ホーム画面でピンチイン ▶ サムネイルをロングタッチ

2 ［削除］

- ページを[ ]までドラッグしても削除できます。

アプリケーション画面

アプリケーション画面の見かた

アプリケーション画面には、搭載されているアプリケーションがグループごとにアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリケーションを起動することができます。

- 新しいアプリケーションをインストールすると、アプリケーション画面にアイコンが追加されます。
- アプリケーションをアンインストールするとアイコンが削除されます。

1 グループ名
2 アプリケーションアイコン
- 新しくインストールしたアプリケーションや更新したアプリケーションには[ ]が表示されます。

3 アプリケーション数

- グループをタッチすると、グループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。また、アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると一括してグループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。

アプリケーション一覧

アプリケーションは機能や種類ごとにグループで分類されています。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	概　要
	dメニュー	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリケーションです。

アイコン	アプリケーション	概　要
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリケーションです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Androidマーケット上のアプリケーションを紹介しています。
	i チャネル	i チャネルを利用するためのアプリケーションです。
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリケーションです。キャラクターはウィジェット上で動き、メール受信や着信などの情報をお知らせします。
	ドコモバックアップ	電話帳などのデータをバックアップしたり、復元できるアプリケーションです。

基本機能

アイコン	アプリケーション	概　要
	電話	電話を利用します（☞P.65）。
	電話帳	電話帳を利用します（☞P.69）。

アイコン	アプリケーション	概　要
	SH電話帳	電話帳に登録したり、登録した電話帳を利用して電話を発信したりメールを作成・送信したりできます。また、電話帳から選んだ相手とのTwitterやmixiなどの履歴や静止画、動画を確認することができます。
	電話帳コピーツール	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリケーションです（☞P.71）。
	声の宅配便※	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリケーションです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。
	spモードメール※	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています（☞P.93）。
	メール	メールを利用します（☞P.95）。
	Gmail	Gmailを利用します（☞P.98）。

アイコン	アプリケーション	概　要
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリケーションです（☞P.101）。
	メッセージ	SMSを利用します（☞P.93）。
	トーク	Googleトークを利用します（☞P.130）。
	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリケーションです。
	あんしんスキャン※	端末をウイルス被害から守るアプリケーションです。インストールしたアプリケーションやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。
	取扱説明書※	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	ブラウザ	パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを表示します（☞P.102）。
	検索	クイック検索ボックスを利用します（☞P.41）。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します（☞P.41）。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	マーケット	Androidマーケットを利用します（☞P.125）。

エンターテイメント

アイコン	アプリケーション	概　要
	BOOKストア 2Dfacto※	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入して閲覧できる電子書籍ストアです。
	BOOKストア マイ本棚※	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリケーションです。
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリケーションです。
	Gガイド番組表	地上波・BSの番組表が閲覧できるアプリケーションです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグの視聴・録画予約、外出先からの遠隔録画も可能です。
	ワンセグ	ワンセグを視聴します（☞P.132）。

アイコン	アプリケーション	概 要
	YouTube	YouTubeを利用します（☞P.136）。
	Twitter※	Twitterの公式クライアントアプリケーションです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	Smart Familink	端末とホームネットワーク機能対応テレビ「AQUOS」をWi-Fiで接続して利用することができます（☞P.144）。
	ピクチャー	画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます（☞P.122）。

便利ツール

アイコン	アプリケーション	概 要
	カメラ	カメラを起動します（☞P.116）。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリケーションです（☞P.142）。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリケーションです（☞P.141）。

アイコン	アプリケーション	概 要
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	地図アプリ※	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします（☞P.129）。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます（☞P.128）。
	ナビ	現在地から目的地までのルートを検索することができます（☞P.129）。
	プレイス	現在地周辺の施設をジャンル別に検索することができます（☞P.129）。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます（☞P.129）。
	Evernote※	Webサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できます。情報の保存や閲覧は本端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	名刺作成	「電話帳」( )アプリケーション内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリケーションです。
	しゃべってカンタン操作※	使いたい機能やアプリケーション、設定名を話しかけるだけで、ご希望の機能などを簡単に呼び出すことができるアプリケーションです。
	赤外線送受信	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリケーションです(☞P.106)。
	電卓	電卓を利用します(☞P.143)。
	時計	世界時計(☞P.139)、アラーム(☞P.139)、ストップウォッチ(☞P.141)、タイマー(☞P.141)を利用します。
	読取カメラ	バーコードリーダー(☞P.119)、名刺リーダー(☞P.120)、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ(☞P.121)、テキストリーダー(☞P.121)、お店情報リーダー(☞P.122)を利用できます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	MediaJet	端末とパソコンとの間で音楽データ／動画／静止画などを同期させることができます(☞P.113)。
	Adobe Reader	PDFファイルを表示することができます。
	コンテンツマネージャー	microSDカードに保存されたデータを管理します(☞P.105)。
	メーカーアプリ	シャープのサイトに接続します。

おサイフケータイ／ショッピング

アイコン	アプリケーション	概　要
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(☞P.137)。
	iD設定アプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリケーションです(☞P.144)。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます(☞P.138)。

設定

アイコン	アプリケーション	概　要
	設定	端末の各種設定をします。 ● ホーム画面で[MENU]▶[本体設定]と同様の設定操作ができます。

アイコン	アプリケーション	概　要
	オートGPS	お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるためのアプリケーションです。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリケーションです。 また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。

※はじめてご利用される際にはアプリケーションをダウンロードする必要があります。アプリケーションのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

アプリケーションの管理

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]

アプリケーションの移動

1 ホーム画面で[⊜]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [移動]▶グループを選ぶ

- アプリケーションアイコンを移動先までドラッグしても移動できます。

グループの管理

グループの追加

- グループは最大50個まで追加できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[MENU]▶[グループ追加]

2 グループ名を入力▶[OK]

グループの並べ替え

1 ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

グループ名の編集

1 ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ

2 [名称変更]▶グループ名を入力▶[OK]

グループ色の変更

1 ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ

2 [ラベル変更]▶色を選ぶ

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

グループの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶グループをロングタッチ

2 [削除]▶[OK]

アプリケーションの検索

1 ホーム画面で[⊜]▶[MENU]▶[検索]

2 検索対象を選択▶[アプリ]

3 キーワードを入力

- 検索画面の見かたについては☞P.41

4 検索結果を選ぶ

- アプリケーションを起動します。

アプリケーション画面の表示切替

1 ホーム画面で[⊜]▶[MENU]▶[リスト形式]／[タイル形式]

ホームアプリの情報

アプリケーション情報

1 ホーム画面で[MENU]▶[その他]▶[アプリケーション情報]

ホームアプリの設定

1 ホーム画面で[MENU]▶[その他]▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

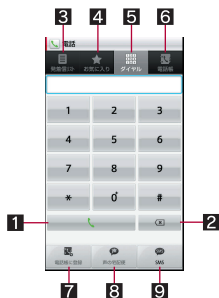
- ■ パーソナルエリア:パーソナルエリアを表示するか設定します。
- ■ 壁紙のループ:壁紙をループするか設定します。
- ■ 自動通信:パーソナルエリアの情報更新時に自動的に通信するか設定します。
- ■ 国際ローミング:国際ローミング時に自動的に通信するか設定します。

電話／ネットワークサービス

電話をかける

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。

1 発信
- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除
- 入力した番号を一文字削除します。

3 発信履歴／着信履歴

4 お気に入り
- [お気に入り]にグループ設定されている電話帳を表示します。

5 ダイヤル
- ダイヤル画面を表示します。

6 電話帳

7 電話帳に登録

8 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はP.78「声の宅配便」およびドコモのホームページをご覧ください。

9 SMS

3 [📞]

4 通話が終わったら[終了]

プッシュホン信号の入力

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力▶[*]（1秒以上）

3 送信する番号を入力▶[📞]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では、PINコードの入力画面やPINロック解除コードの入力画面、またドコモminiUIMカードが完全にロックされた状態では、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 世界約240の国・地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と電話がご利用できます。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- WORLD CALLの料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLの詳細については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。

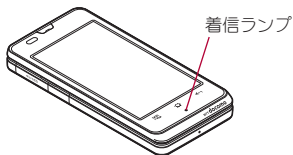
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

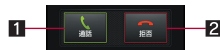
[通話方法]
- 一般電話へかける場合:010▶国番号▶地域番号(市外局番)▶相手先電話番号▶[📞]
- 携帯電話へかける場合:010▶国番号▶相手先携帯電話番号▶[📞]

・相手先の携帯電話番号、地域番号(市外局番)が「0」から始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域を除く)。
・「010」のかわりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中に▲/▼を押すと、着信音やバイブレータを止めることができます。

2 電話を受ける

- [操作開始]が表示された場合は[操作開始]をタッチしてから操作してください。

1 通話
- 電話を受けることができます。

2 拒否
- 着信を拒否することができます。

3 通話が終わったら[終了]

伝言メモで応答

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 [MENU]▶[伝言メモ]

応答保留

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 [MENU]▶[応答保留]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 通話を追加
- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

2 終了
- 通話を終了します。

3 ダイヤルキー
- プッシュホン信号の入力ができます。

4 Bluetooth
- Bluetooth機器を利用した通話に切り替えます。

5 ミュート
- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

6 スピーカー
- ハンズフリーで通話ができます。

- ハンズフリーで通話する際には、次の内容にご注意ください。
  - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、通話音量を下げてください。

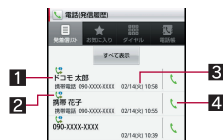
通話音量調節

1 通話中に[▲]／[▼]

発着信履歴

最新の履歴からそれぞれ50件まで端末に記憶されます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[発着信リスト]▶[発信履歴]／[着信履歴]

2 履歴を選ぶ

発信履歴一覧画面

着信履歴一覧画面

1 相手の名前／電話番号

2 発信ステータスアイコン

	通知なし指定以外の発信
	通知なし発信

3 発着信日時

4 発信アイコン
- タッチすると発信します。

5 不在着信

3 [電話をかける]

- SMSの作成・送信：[SMSを送信する] ▶ SMSを作成・送信
- 声の宅配便の録音：[声の宅配便を録音する]
- 電話帳に登録：[電話帳に登録] ▶ 電話帳に登録

発着信履歴の削除

全件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で[MENU] ▶ [全件削除] ▶ [OK]

1件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ ▶ [通話履歴から消去] ▶ [OK]

電話帳

電話帳の登録

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [電話帳]( ) ▶ [登録]

2 登録するアカウントを選ぶ

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。

1 画像
- 発着信時や電話帳確認時に表示する画像を登録します。

2 姓、名

3 姓のふりがな、名のふりがな

4 グループ

5 着信音

6 電話番号

7 メールアドレス

8 その他
- その他の情報を登録します。

9 追加
- 登録する電話番号／メールアドレスなどを追加します。

10 削除
- 電話番号／メールアドレスなどを削除します。

4 [登録完了]

電話帳の確認／利用

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳]( )

2 名前を選ぶ

1 画像
- タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。

2 登録内容
- 登録内容がアイコンで表示されます。

3 電話帳

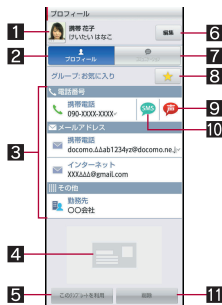
4 コミュニケーション
- 電話やメールなどでやりとりした履歴が表示されます。

5 マイプロフィール

6 グループ
- 表示するグループを選択します。

7 登録

8 検索

3 登録情報を確認／利用する

1 画像

2 プロフィール
- 登録内容を表示します。

3 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。

4 名刺
- 名刺交換で受信した名刺を登録すると表示されます。

5 このテンプレートを利用
- 登録してある名刺をテンプレートとして、自分の名刺を作成できます。

6 編集

7 コミュニケーション
- 電話やメールなどでやりとりした履歴が表示されます。

8 お気に入り
- お気に入りに登録します。

9 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はP.78「声の宅配便」およびドコモのホームページをご覧ください。

10 SMS

11 削除
- 登録してある名刺を削除します。

電話帳の削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳]( )

2 名前をロングタッチ▶[削除]▶[OK]

電話帳の編集

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳]( )

2 名前を選ぶ▶[編集]

3 各項目を設定▶[登録完了]

- 設定できる各項目の詳細については☞P.69

マイプロフィール

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳]( )▶[マイプロフィール]

2 プロフィールを確認／利用する

1 画像

2 登録内容

3 名刺

4 この名刺を交換する
- 登録した名刺を交換します。

5 編集

6 新規作成
- 名刺を作成します。

7 名刺編集

8 名刺削除

ドコモminiUIMカードからのインポート

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳]( )

2 [MENU]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SIMカードからインポート]

3 登録先のアカウントを選ぶ

4 インポートする連絡先を選ぶ

- すべての連絡先をインポート：[MENU]▶[すべてインポート]

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話帳コピーツール]

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポート

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 電話帳コピーツール画面で[エクスポート]▶[開始]▶[OK]

- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポート

- あらかじめ電話帳データが保存されたmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 電話帳コピーツール画面で[インポート]

2 インポートする電話帳を選ぶ▶[上書き]／[追加]▶[OK]

- インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピー

1 電話帳コピーツール画面で[docomoアカウントへコピー]

2 コピーするGoogleアカウントを選ぶ▶[上書き]／[追加]▶[OK]

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。
- 本体に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへコピーできます。

- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳コピーツールで作成(エクスポート)した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、一括バックアップで作成したファイルは読み込むことができません。

電話帳について

お買い上げ時は、発信履歴／着信履歴から電話帳に登録するときなどに起動する電話帳として、「電話帳」(📞)アプリケーションが設定されています。

- 次の場合に、設定が解除されます。
  - ■オールリセットを行ったとき
  - ■その他の電話帳のアプリケーションをインストールしたとき
  - ■アプリケーションの管理のデフォルトでの起動欄の[設定を消去]を行ったとき
- 設定が解除された場合は、発信履歴／着信履歴から電話帳に登録するときなどに、起動する電話帳アプリケーションを選択する画面が表示されます。[常にこの操作で使用する]を有効にし、アプリケーションを選ぶと再度設定することができます。

利用できるネットワークサービス

- 本端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
公共モード(電源OFF)	不要	無料
声の宅配便	不要	無料

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、本端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 本端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、非対応に設定してください。
- 伝言メモ(☞P.81)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間設定を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、お知らせアイコン[]が表示されます。

基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。

STEP 2　お客様の端末に電話がかかる。

STEP 3　電話に出られないときは、留守番電話サービスセンターに接続される。

STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音する。

- 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージを録音することができます。

STEP 5　伝言メッセージを再生する。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[留守番電話サービス]**

2 **サービスを選ぶ**

■ サービス開始:留守番電話サービスを開始します。
■ 呼出時間設定:留守番電話サービスに接続するまでの時間を設定します。
■ サービス停止:留守番電話サービスを停止します。
■ 設定確認:現在の設定内容を確認します。
■ メッセージ再生:新しい伝言メッセージを再生します。
■ 設定:留守番電話サービスについて設定します。
■ メッセージ問合せ:新しい伝言メッセージがあるかを確認します。
■ 件数増加鳴動設定:伝言メッセージが増えたときのお知らせについて設定します。

● 伝言メッセージは1件あたり最長約3分、20件まで録音でき、最長約72時間保存されます。
● 転送でんわサービスを「開始」に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します。

[呼出時間設定]について

● 呼出時間設定を「0秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されず、直接留守番電話サービスセンターに接続されます。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

● 通話中に電話がかかってきた場合、「ププ…ププ…」という音が聞こえます。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[キャッチホン]**

2 **サービスを選ぶ**

■ サービス開始:キャッチホンを開始します。
■ サービス停止:キャッチホンを停止します。
■ 設定確認:現在の設定内容を確認します。

● 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
● キャッチホンを停止しても、通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけることはできます。

通話中にかかってきた電話に応答

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえる

2 電話を受ける

- ［操作開始］が表示された場合は［操作開始］をタッチしてから操作してください。

1 通話
- 通話中の電話を保留にして応答することができます。

2 拒否
- 着信を拒否することができます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に発信

1 通話中に［通話を追加］▶電話番号を入力▶［📞］

- 最初の方との通話は自動的に保留されます。

キャッチホン通話中画面の見かた

1 相手の切替
- 通話相手の切り替えができます。

2 通話中の相手

3 通話保留中の相手

転送でんわサービス

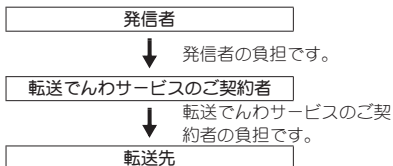
電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（☞P.81）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、お知らせアイコン［☒］が表示されます。

基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様の端末に電話がかかる。
STEP 4　電話に出られないときは、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの通話料

発信者
↓ 発信者の負担です。
転送でんわサービスのご契約者
↓ 転送でんわサービスのご契約者の負担です。
転送先

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[転送でんわサービス]

2 サービスを選ぶ

- ■ サービス開始：転送でんわサービスを開始します。また、転送先電話番号の入力や呼出秒数の設定ができます。
- ■ サービス停止：転送でんわサービスを停止します。
- ■ 転送先変更：転送先電話番号を変更します。
- ■ 転送先通話中時設定：転送先が通話中の場合に、留守番電話サービスセンターに接続するか設定します。
- ■ ガイダンス設定：転送ガイダンスの有無を設定します。
- ■ 設定確認：現在の設定内容を確認します。

- 留守番電話サービスを「開始」に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 呼出秒数設定を「0秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されず、直接転送されます。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。
- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話は拒否登録できないことがあります。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[迷惑電話ストップサービス]

2 サービスを選ぶ

- ■ 着信番号拒否登録：最後に着信応答した相手を登録します。
- ■ 番号指定拒否登録：電話番号を指定して登録します。
- ■ 登録番号全件削除：登録した電話番号をすべて削除します。
- ■ 最終登録番号削除：最後に登録した電話番号を1件削除します。
- ■ 登録件数確認：登録した電話番号の件数を確認します。
- ■ 詳細設定：登録した番号の選択削除や登録番号の確認ができるサイトへ接続します。

発信者番号通知

電話をかけるときに、相手の電話機（ディスプレイ）に自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号を表示可能な場合に利用できます。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にするか「186」を付けてからおかけ直しください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[発信者番号通知]

2 サービスを選ぶ

■設定：通知／非通知を設定します。
■設定確認：現在の設定内容を確認します。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 公共モード（電源OFF）とネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※1 呼出時間が0秒以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。
※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード（電源OFF）が動作します。

- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モード（電源OFF）は動作しません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[公共モード（電源OFF）設定]

2 サービスを選ぶ

■サービス開始：公共モード（電源OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。
■サービス停止：公共モード（電源OFF）を解除します。
■設定確認：公共モード（電源OFF）の設定を確認します。

公共モード（電源OFF）を設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

声の宅配便

声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。

- 声の宅配便はお申し込み不要なサービスです。月額使用料は無料です。なお、メッセージの録音・再生には通話料金がかかります。
- 海外では利用できません。
- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。

基本的な流れ

STEP 1　「声の宅配便」アプリケーションで相手を指定し、発信する。

STEP 2　音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する。

STEP 3　相手に録音通知が届く。

STEP 4　相手がメッセージを再生する。

STEP 5　メッセージが再生されたことを伝える再生通知が届く。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]▶[声の宅配便]

2 サービスを選ぶ

- ■ サービス利用(アプリ起動):「声の宅配便」アプリケーションを起動します。
- ■ 設定確認・変更(サイト接続):サイトに接続して設定を行います。
- ■ 設定確認・変更(音声発信):電話を発信して設定を行います。

- メッセージは１件あたり最長15分間録音でき、最大500件まで保存されます。メッセージの保存期間は720時間です。
- メッセージは最大５件まで保護できます。保護を解除すると720時間後に自動で削除されます。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面で[⊜]▶[設定]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

設　定	内　容
プロフィール	ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
省エネ設定	エコ技設定を起動します。利用するモードを設定したり、電池残量や時刻でモードを切り替えるよう設定したりすることができます。
ドコモサービス	ドコモサービスの設定を行います。
無線とネットワーク	Wi-Fi機能やBluetooth機能、Wi-Fiテザリングなど、通信について設定します。
通話設定	留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。
サウンド設定	マナーモードや着信音などについて設定します。
画面設定	画面表示などについて設定します。
USB接続	端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。
位置情報とセキュリティ	セキュリティロックや位置情報の取得方法について設定します。
アプリケーション	アプリケーションを管理します。
アカウントと同期	端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。
プライバシー	オールリセットやデータの移行を行います。
microSDと端末容量	microSDカードの空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。
言語とキーボード	画面に表示される言語や、文字入力について設定します。
音声入出力	音声入力やテキスト読み上げについて設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
歩数計設定	ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。
日付と時刻	日時の設定や日時の表示形式について設定します。
端末情報	端末情報の確認ができます。
初期設定	初期設定を変更できます。

プロフィール

ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[プロフィール]**

2 **[MENU]▶[編集]▶各項目を設定▶[MENU]▶[保存]▶[はい]**

省エネ設定

エコ技設定を起動します。利用するモードを設定したり、電池残量や時刻でモードを切り替えるよう設定したりすることができます。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[省エネ設定]**

2 **設定する**

1 設定中
- 設定されているモードに表示されます。

2 モード
- 設定できるモードは次のとおりです。
  - ■ 通常モード：お好みの内容に設定を変更できます。
  - ■ 技ありモード：電池の消費を抑えながら、快適に使用できます。
  - ■ お助けモード：電池の消費を極力抑えます。

3 省エネレベル
- 省エネの効果を表します。

4 残量で切替
- 指定した電池残量になったとき、指定したモードに切り替わるよう設定できます。

5 編集
- Wi-FiやBluetooth機能、GPS機能の利用など、省エネさせる機能を個別に設定します。

6 確認
- モードの詳細を確認します。

7 タイマー設定
- 指定した時刻になったとき、指定したモードに切り替わるよう設定できます。

8 現在の電池使用量

- 残量で切替の設定によってモードが切り替わっている場合、タイマー設定で設定した時刻になってもモードは切り替わりません。
- 省エネ待受を有効にすると、スリープモード中にバックグラウンドで動作するアプリケーションを制御します。技ありモードでは、編集画面で省エネ待受の[❓]をタッチし、[詳細]を選択すると、制御したいアプリケーションを個別に設定することができます。
- 定期的に通信するアプリケーションは、省エネ待受を無効にしていても通信を開始しない場合があります。その場合は該当のアプリケーションで再度設定を行ってください。

ドコモサービス

ドコモサービスの設定を行います。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[ドコモサービス]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ アプリケーション管理:アプリケーションのアップデートの確認について設定します。
- ■ Wi-Fi:Wi-Fiを利用してドコモサービスを利用するための設定を行います。
- ■ ドコモアプリパスワード:ドコモが提供するアプリケーションで利用するパスワードを設定します。
- ■ オートGPS:オートGPSについて設定します。
- ■ オープンソースライセンス:オープンソースライセンスを表示します。

無線とネットワーク

Wi-Fi機能やBluetooth機能、Wi-Fiテザリングなど、通信について設定します。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ 電波OFF(機内)モード:電話やメールなど、通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。
- ■ Wi-Fi:Wi-Fi機能を有効にします。
- ■ Wi-Fi設定:Wi-Fi設定については☞P.43
- ■ ホームネットワーク設定:ホームネットワーク設定については☞P.114
- ■ Bluetooth:Bluetooth機能を有効にします。
- ■ Bluetooth設定:Bluetooth設定については☞P.110
- ■ テザリング:テザリングについては☞P.45
- ■ VPN設定:VPN設定については☞P.115
- ■ モバイルネットワーク:モバイルネットワークについては☞P.147

[電波OFF(機内)モード]について

- ● SIMカードロック設定が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。SIMカードロック設定が無効の場合は、電波OFF(機内)モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、電波OFF(機内)モードが無効になり、発信を行います。

通話設定

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ ネットワークサービス:ネットワークサービスについては☞P.73
- ■ 着信時キー動作設定:着信時に⍐を押したときの動作を設定します。
- ■ 電源キーで通話を終了:⏻を押して通話を終了するか設定します。
- ■ スライドオープン通話:着信中に端末を開くと通話を開始します。
- ■ スライドクローズ終話:通話中に端末を閉じると通話を終了します。

- ■ 音声・伝言メモ：音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。
- ■ 海外設定：国際ローミング時の設定を行います。
- ■ 通話詳細設定：プレフィックス番号を登録します。
- ■ 着信拒否：着信拒否について設定します。
  - ・[指定番号]▶[MENU]▶[編集]で指定番号を登録／変更／削除できます。
- ■ アカウント：インターネット通話のアカウントについて設定します。
- ■ インターネット通話を使用：インターネット通話を使用するかを設定します。

[着信時キー動作設定]について

- ● 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 応答：着信時に▲を押すと電話に出ることができます。
  - ■ クイックサイレント：着信時に▲を押すと一時的に着信音やバイブレータを停止できます。

サウンド設定

マナーモードや着信音などについて設定します。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[サウンド設定]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ マナーモード：マナーモードについては☞P.83
- ■ バイブ：着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- ■ 音量：着信音やメディア再生音などの音量を設定します。
  - ・▲／▼を押しても着信音量を変更できます。
- ■ イヤホンの種類：接続するイヤホンマイクの種類を設定します。
- ■ 着信音：着信音を設定します。
- ■ バイブのパターン：バイブレータの動作を設定します。
- ■ 着信ランプ：着信時のランプの動作を設定します。
- ■ 通知音：お知らせ受信時の通知音を設定します。
- ■ 鳴動時間：鳴動時間を設定します。
- ■ 光を点滅させて通知：お知らせ受信時にランプを点滅させるか設定します。
- ■ 充電開始音：充電開始時に音を鳴らすか設定します。
- ■ タッチ操作音：ダイヤル音の有無を設定します。
- ■ 選択時の操作音：選択時の操作音の有無を設定します。
- ■ 画面ロックの音：タッチパネルのロック／ロック解除時の音の有無を設定します。
- ■ 入力時バイブ：特定のキー操作時などにバイブレータを動作させるか設定します。

[光を点滅させて通知]について

- ● お知らせランプが点滅し始めてから約24時間何も操作しなかったときは、お知らせランプが消灯します。

マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[サウンド設定]▶[マナーモード]

- ホーム画面で▯(1秒以上)▶[マナーモード]でも設定／解除ができます。マナーモードを設定するときは、前回設定していたマナーモードに設定されます。

2 マナーモードの種類を選ぶ

■ 通常マナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

■ ドライブマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモが有効になり、応答メッセージ設定が[ドライブ]で動作します。

■ サイレントマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

■ OFF：マナーモードを解除します。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
  - ■ カメラのシャッター音
  - ■ ビデオカメラの撮影開始音／停止音
- マナーモード設定中は、▯／▯を押しても着信音量を変更できません。

画面設定

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[画面設定]

2 項目を選ぶ

■ 画面の明るさ：画面の明るさについては☞P.84

■ オープン時自動回転：端末を開いている状態で、端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるかを設定します。

■ クローズ時自動回転：端末を閉じている状態で、端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるかを設定します。

■ アニメーション表示：画面の切り替えをアニメーションで表現するか設定します。

■ バックライト点灯時間：バックライトの点灯時間を設定します。

■ ベールビュー：周りの人からディスプレイを見えにくくします。

■ 文字フォント切替：文字のフォントを設定します。

■ 壁紙：ホーム画面の画像を設定します。

[オープン時自動回転]、[クローズ時自動回転]について

- 利用中のアプリケーションによっては、設定に従わない場合があります。

[バックライト点灯時間]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[ベールビュー]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

- 濃度は[濃い]、[普通]、[薄い]の順で周りの人から見えにくくする効果があります。
- 電源を切るとベールビューが無効になります。

[文字フォント切替]について

- 選択したフォントによっては、Androidマーケットなどでダウンロードしたアプリケーションを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

画面の明るさ

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[画面設定]▶[画面の明るさ]

2 項目を選ぶ

■ 明るさを自動調整：バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。

■ 鮮やか表示モード：鮮やかな表示にするか設定します。

[明るさを自動調整]について

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

USB接続

端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[USB接続]

2 項目を選ぶ

■ PCソフトインストーラー：PC用microUSBケーブルでパソコンと接続したときに、MediaJetをインストールするか設定します。

■ USB接続モード：端末をパソコンに接続したときに設定されるモードを変更します。

・あらかじめ端末をPC用microUSBケーブルでパソコンと接続してください。

[USB接続モード]について

- 設定できるモードは次のとおりです。
  - ■ カードリーダーモード：端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。
  - ■ 高速転送モード：端末とパソコン間の高速データ通信をするときのモードです。
  - ■ MTPモード：Windows Media® Player 11／12を利用してmicroSDカードに音楽データ／動画／静止画を転送するときのモードです。
- データ転送中は電波OFF（機内）モードが有効になる場合があります。

位置情報とセキュリティ

セキュリティロックや位置情報の取得方法について設定します。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[位置情報とセキュリティ]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ 無線ネットワークを使用:無線ネットワークを使用して位置情報を測位します。
- ■ GPS機能を使用:より精度の高い位置情報を測位します。
- ■ ロック設定:画面ロック、音声発信制限、電話帳制限を設定/解除します。
- ■ ロック解除方法:ロック解除方法を変更します。指リスト、ロックNo.、パスワードの3種類の解除方法が利用できます。
- ■ ロック解除パターン変更:設定しているロック解除方法の指リストパターンやロックNo.、パスワードを変更します。
- ■ 指の軌跡を線で表示:指リストパターン入力時の軌跡を線で表示します。
- ■ 入力時バイブ:ロックNo.、指リストパターン、パスワードの入力時にバイブレータを動作させます。
- ■ SIMカードロック設定:SIMカードロック設定については☞P.87
- ■ パスワードを表示:PINコードなどを入力する際、[•]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- ■ デバイス管理者を選択:デバイス管理者を選択については☞P.88
- ■ 安全な認証情報の使用:安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
  - ・あらかじめ認証情報ストレージパスワードを設定しておいてください。
- ■ microSDからインストール:暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
- ■ パスワードの設定:認証情報ストレージパスワードを設定します。
- ■ ストレージの消去:すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

- ● 現在地を測位するためには、位置情報サービス([無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用])を有効にする必要があります。

[GPS機能を使用]について

- ● 端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。

[ロック設定]について

- ● 設定できるロックの詳細については次のとおりです。各ロックを一時解除するには、ロック解除方法で設定した解除方法の入力が必要になります。
  - ■ 画面ロック:タッチパネルのロック時に画面ロックが設定されます。
  - ■ 音声発信制限:電話発信できないようにします。
  - ■ 電話帳制限:電話帳の閲覧や、電話帳の登録など、電話帳に関する操作ができないようにします。
- ● Googleアカウントを設定している場合、画面ロック一時解除時に指リストパターンの入力に5回失敗すると、[忘れた場合]が表示されます。Googleアカウントでログインしてロックを一時解除し、新しい指リストパターンを入力し直してください。
- ● 音声発信制限を設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)へは発信できます。

ロック／セキュリティ

端末で利用する暗証番号

端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用のロックNo.のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、端末を活用してください。

- ロックNo.(各種機能用の暗証番号)、PINコード入力時は、[•]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ロックNo.(各種機能用の暗証番号)

ロックNo.は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.85)。

- ロックNo.の入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、本書の裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.87）。

PINコードは、第三者による端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモminiUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[位置情報とセキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- ■SIMカードをロック：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- ■SIM PINの変更：PINコードを変更します。

- 日本国内では、PINコードの入力画面やPINロック解除コードの入力画面、またドコモminiUIMカードが完全にロックされた状態では、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はドコモminiUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力▶[OK]

2 新しいPINコードを入力▶[OK]

3 もう一度、新しいPINコードを入力▶[OK]

デバイス管理

デバイス管理者が認証済みのときに、デバイス管理者を設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[位置情報とセキュリティ]▶[デバイス管理者を選択]

2 デバイス管理者を選ぶ▶[有効にする]/[無効にする]

- おまかせロックを利用する場合は、おまかせロックを有効にする必要があります。

アプリケーション

アプリケーションを管理します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[アプリケーション]

2 項目を選ぶ

- ■ 提供元不明のアプリ:Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。
- ■ 優先インストール先:アプリケーションの優先インストール先を設定します。
- ■ ファイル送信メールソフト:他のアプリケーションからメール添付操作を行った際に起動するメールソフトを設定します。
- ■ ホーム切替:利用するホームアプリを切り替えます。
- ■ アプリケーションの管理:アプリケーションの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、microSDカードへの移動、アンインストールなどができます。
- ■ 実行中のサービス:現在実行中のサービスを表示して制御します。
- ■ ストレージ使用状況:アプリケーションごとのストレージの使用状況を確認できます。
- ■ 電池使用量:アプリケーションごとの電池の使用量を確認できます。
- ■ 開発:アプリケーションの開発機能を利用します。

[提供元不明のアプリ]について

- サイトからダウンロードするアプリケーションは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなど信頼できる情報源からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

[開発]について

- 開発機能の詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://developer.android.com/

アカウントと同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[アカウントと同期]

2 項目を選ぶ

- ■ バックグラウンドデータ：すべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。
- ■ 自動同期：すべてのアプリケーションが自動的にデータの同期を行うことを許可します。
- •「アカウントを管理」の項目に同期するアカウントが表示されます。
- • アカウントの追加については☞P.46

● 端末の電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

プライバシー

オールリセットやデータの移行を行います。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[プライバシー]

2 項目を選ぶ

- ■ オールリセット：端末内のすべてのデータを消去します。
- ■ データ移行モード：ドコモショップで端末内のデータを移行する際に設定します。

[オールリセット]について

● 消去されるデータは次のとおりです。
- ■ 作成、保存、登録したデータ
- ■「設定」アプリケーションで設定した内容
- ■ ダウンロードしたアプリケーション

microSDと端末容量

microSDカードの空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[microSDと端末容量]

2 項目を選ぶ

- ■ 合計容量：microSDカードの容量を確認します。
- ■ 空き容量：microSDカードの空き容量を確認します。
- ■ microSDバックアップ：microSDバックアップについては☞P.143
- ■ microSDをマウント／microSDのマウント解除：microSDカードをマウント／マウント解除します。
- ■ microSD内データを消去：microSDカードを初期化します。
  - ・あらかじめ、microSDカードのマウントを解除しておいてください。
- ■ 空き容量：端末のメモリの空き容量を確認します。

[microSDをマウント]、[microSDのマウント解除]について

● microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

[microSD内データを消去]について

● 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

言語とキーボード

画面に表示される言語や、文字入力について設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[言語とキーボード]

2 項目を選ぶ

- ■ 言語(Language)を選択:日本語表示/英語表示を選択します。
- ■ 単語リスト:任意の単語を辞書に登録します。
- ■ iWnn IME - SH edition:iWnn IME - SH editionについて設定します。設定できる各項目の詳細については☞P.52

音声入出力

音声入力やテキスト読み上げについて設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[音声入出力]

2 項目を選ぶ

- ■ 音声認識装置の設定:音声検索利用時の音声入力について設定します。
- ■ テキスト読み上げの設定:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

- ● テキスト読み上げは、音声データやユーザー補助オプションなどをダウンロードすることで利用できるようになります。
- ● お買い上げ時にインストールされている音声データに日本語のデータは含まれません。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- ■ ユーザー補助:ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを設定します。
- ■ アプリ終了機能を有効化:[⊟]を押してアプリケーションを終了するか設定します。

[ユーザー補助]について

- ● お買い上げ時はユーザー補助オプションが登録されておりません。Androidマーケットから「SoundBack」、「KickBack」、「TalkBack」などのユーザー補助オプションをダウンロードすることで、設定ができるようになります。

歩数計設定

ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[歩数計設定]

2 項目を選ぶ

- ■ 歩数計ON:歩数計を有効にします。
- ■ ユーザー情報:身長や体重、歩幅を登録します。
- ■ 歩数計リセット時刻設定:歩数計をリセットする時刻を設定します。
- ■ 歩行感度:歩数計の感度を設定します。

- ユーザー情報を登録しないと、歩数計ONを有効にすることができません。
- 歩数計ONを有効にすると、電源がONになっている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度歩数計リセット時刻設定で設定した時刻にリセットされます。

歩数計について

歩数計ウィジェットを使って毎日のウォーキングやジョギングをサポートします。
歩数や消費カロリーなどは履歴として保存され、グラフで確認することができます。

- あらかじめユーザー情報を登録し、歩数計設定の歩数計ONを有効にしておいてください（☞P.90）。
- バイブレータの動作などによって、端末に振動や揺れが加えられた場合、歩数が正確に測定されないことがあります。
- 測定した歩数は、装着や測定のしかた、歩きかたによって正確に表示されない場合があります。
- キャリングケース 02（別売）に入れるときは、キャリングケース 02を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。

- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- 端末が不規則に動く場合
  - ■端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
  - ■端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- 不規則な歩行をした場合
  - ■すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  - ■混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- 上下運動や振動の多いところで使用した場合
  - ■立ったり座ったりしたとき
  - ■歩行以外のスポーツを行ったとき
  - ■階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
  - ■乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- 極端にゆっくり歩いた場合

日付と時刻

日時の設定や日時の表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- ■ 自動:日時を自動的に補正するか設定します。
- ■ 日付設定:日付を手動で設定します。
- ■ タイムゾーンの選択:タイムゾーンを手動で設定します。
- ■ 時刻設定:時刻を手動で設定します。
- ■ 24時間表示:12時間制/24時間制を切り替えます。
- ■ 日付形式:日付の表示形式を設定します。

[自動]を有効にしたとき

- ● 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- ● 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- ● 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- ■ 端末の状態:電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- ■ 電池使用量:アプリケーションごとの電池の使用量を確認できます。
- ■ センサー感度補正:モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- ■ ソフトウェア更新:ソフトウェア更新については☞P.158
- ■ メジャーアップデート:メジャーアップデートについては☞P.165
- ■ 法的情報:著作権情報や利用規約などを確認できます。
- ■ 技術基準適合証明:技術基準適合証明書を確認できます。
- ■ モデル番号:モデル番号を確認できます。
- ■ Androidバージョン:Androidバージョンを確認できます。
- ■ ベースバンドバージョン:ベースバンドバージョンを確認できます。
- ■ カーネルバージョン:カーネルバージョンを確認できます。
- ■ ビルド番号:ビルド番号を確認できます。

[センサー感度補正]について

- ● 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- ● 補正を行う環境や同時に起動しているアプリケーションによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリケーションを終了させるなどしてください。

メール／インターネット

spモードメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[spモードメール]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

電話番号を利用して、他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 [新規作成]▶宛先、本文を入力▶[送信]

- 宛先が海外通信事業者のときは、「＋」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「０」で始まるときは「０」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信するときは、「010」を入力してください。
- SMSの本文に半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。

1 画像
- 相手の画像（顔）を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

2 宛先／送信元

3 スレッド内のメッセージ件数

4 送受信日時

3 メッセージを確認する

1 送信元
- 送信元が電話帳に登録されていない場合、タッチするとダイヤル画面が表示されます。

2 メッセージ

3 送受信日時

メッセージの返信

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 本文を入力▶[送信]

メッセージの転送

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ▶[転送]▶宛先、本文を入力▶[送信]

メッセージの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ▶[メッセージを削除]▶[削除]

スレッドの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]
- スレッドの全件削除:[MENU]▶[スレッドを削除]▶[削除]

2 スレッドをロングタッチ▶[スレッドを削除]▶[削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[メッセージ]

2 [MENU]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- ■古いメッセージを削除:保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- ■テキストメッセージの制限件数:スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- ■受取確認通知:送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- ■SIMカードのメッセージ:ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。
- ■通知:メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- ■着信音を選択:メッセージ受信時の着信音を設定します。
- ■バイブレーション:メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

[受取確認通知]について
- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Eメール

mopera Uなどのサービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

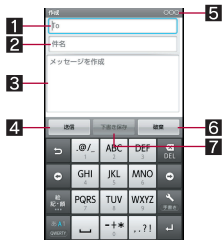
- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（☞P.46）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[メール]

2 [MENU]▶[作成]

3 メールを作成・送信

- ファイルの添付：[MENU]▶[添付ファイルを追加]▶ファイルを選ぶ

1 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

2 件名

3 本文

4 送信

5 アカウント

6 破棄

- メールの編集内容を保存せずに終了します。

7 下書き保存

- メールを送信せずに下書きフォルダに保存します。

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

- データは1つあたり最大5Mバイト添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

1 ホーム画面で[⊜]▶[メール]

- 登録されているアカウントが1つの場合、受信トレイ画面が表示されます。
  - メールメイン画面の表示：[MENU]▶[アカウント]
  - メールボックス画面の表示：[MENU]▶[フォルダ]
  - 受信トレイの更新：受信トレイ画面で[MENU]▶[更新]
- 登録されているアカウントが複数の場合、メールメイン画面が表示されます。

2 メールを選ぶ

受信トレイ画面

メールメイン画面

1 表示中のフォルダ名

2 未読メール
- 既読メールは背景色が黒色になります。

3 チェックボックス
- チェックを付けたメールに一括で未読／既読／スター付き／削除の設定ができます。

4 アカウント
- アカウントが複数登録されている場合、タッチするとメールメイン画面が表示されます。

5 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 統合受信トレイ
- すべてのアカウントの受信メールを表示します。

7 スター付きフォルダ
- すべてのアカウントのスター付きメールを表示します。

8 下書きフォルダ
- すべてのアカウントの下書きメールを表示します。

9 送信トレイ
- 送信中のメールがあるときに表示されます。

10 アカウント
- 設定したアカウントを表示します。各アカウントを選択すると、選択したアカウントの受信トレイ画面を表示します。

11 未読メール件数

12 メール件数
- 送信トレイには送信中のメール件数が表示されます。

13 優先アカウントアイコン
- メールメイン画面からメールを作成した場合に使用されるアカウントに表示されます。

14 フォルダアイコン
- 各アカウントのメールボックス画面が表示されます。

3 メールを確認する

1 宛先
2 件名
3 本文
4 添付ファイル
5 受信日時
6 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 前のメールに移動
8 送信元
- タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

9 次のメールに移動
10 返信
11 全員に返信
12 削除

メールの返信

1 **ホーム画面で[⊜]▶[メール]**
2 **メールを選ぶ**
3 **[返信]/[全員に返信]▶メールを作成・送信**

メールの転送

1 **ホーム画面で[⊜]▶[メール]**
2 **メールを選ぶ**
3 **[MENU]▶[転送]▶メールを作成・送信**

メールの削除

1 **ホーム画面で[⊜]▶[メール]**
- メールの選択削除:チェックボックスをタッチ▶[削除]

2 **メールを選ぶ**
3 **[削除]**

メールの設定

アカウントの設定

1 **メールメイン画面でアカウントをロングタッチ▶[アカウントの設定]**
2 **項目を選ぶ**
- ■ アカウント名:アカウント名を変更します。
- ■ 名前:名前を変更します。
- ■ 署名:署名を登録します。

■ 受信トレイの確認頻度:受信トレイの自動確認について設定します。
■ 優先アカウントにする:メール送信時に優先して使用するアカウントを設定します。
■ メール着信通知:メール受信時にステータスバーで通知するか設定します。
■ 着信音を選択:メール受信時の着信音を設定します。
■ バイブレーション:バイブレータの動作を設定します。
■ 受信設定:受信サーバーについて設定します。
■ 送信設定:送信サーバーについて設定します。

アカウントを追加

1 メールメイン画面で[MENU]▶[アカウントを追加]

2 アカウントを設定する

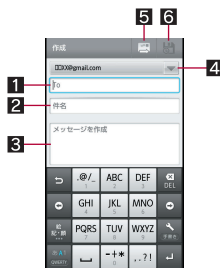
Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。

● Gmailの詳細については、Gmailサイトをご覧ください。
ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]▶[MENU]▶[その他]▶[ヘルプ]

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]

2 [MENU]▶[新規作成]

3 メールを作成・送信

1 宛先
● 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

2 件名

3 本文

4 アカウント
● 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

5 送信

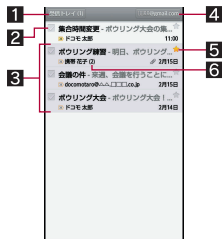
6 下書き保存
● メールを下書きとして保存します。

メールの表示

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]

- 受信トレイの更新：[MENU]▶[更新]
  - ・新着メールがある場合は受信し、受信トレイ画面に表示されます。
- メールの検索：[MENU]▶[検索]▶キーワードを入力▶検索結果を選ぶ

2 スレッドを選ぶ

- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。

1 ラベル
- タッチすると表示種別を選択できます。

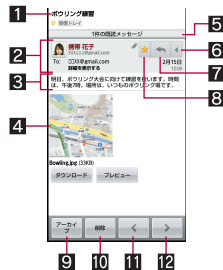
2 チェックボックス
- チェックを付けたメールに一括でアーカイブ／削除／ラベルの設定ができます。

3 未読メールがないスレッド
- 背景色がグレーで表示されます。

4 アカウント
- 複数のアカウントを設定している場合、タッチするとアカウントを切り替えられます。

5 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 スレッド内のメール件数

3 メールを確認する

1 件名

2 送信元
- メールの送信者、送信日時、宛先などの情報が表示されます。[詳細を表示する]をタッチすると詳細を表示できます。

3 本文

4 添付ファイル

5 既読メール
- スレッド内に複数のメールがある場合、タッチすると既読メールの送信者、最初の一行などが表示され、既読メールを確認できます。

6 開く
- タッチすると返信/全員に返信/転送をすることができます。

7 返信

8 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

9 アーカイブ

10 削除

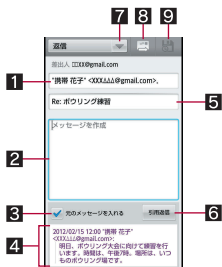
11 次のスレッドを表示

12 前のスレッドを表示

メールの返信/転送

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [◀]▶[返信]/[全員に返信]/[転送]▶メールを作成・送信

1 宛先

2 本文

3 元のメッセージを入れる
- タッチすると、送信元のメールの表示/非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

4 送信元のメール

5 件名

6 引用返信
- 送信元のメールを本文に入力します。

7 返信種別
- タッチすると返信/全員に返信/転送を切り替えられます。

8 送信

9 下書き保存
- メールを下書きとして保存します。

スレッドの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]

- スレッドの選択削除:チェックボックスをタッチ▶[削除]

2 スレッドを選ぶ

3 [削除]

Gmailの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[Gmail]▶[MENU]▶[その他]▶[設定]

2 項目を選ぶ

■ 全般設定:Gmail全般について設定します。

■ アカウントを追加:アカウントを追加します。

- アカウントを選ぶと、優先トレイや署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリケーションです。

- エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、スリープモード中や画面ロック設定中にかかわらず内容を表示します。
- 端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。
  - 次の場合は、受信できません。
    - ■ 電源OFF時
    - ■ 圏外時
    - ■ 国際ローミング中
    - ■ 電波OFF(機内)モード設定中
  - 次の場合は、受信しないことがあります。
    - ■ パケット通信中(データ通信中)
    - ■ Wi-Fiテザリング中
    - ■ ソフトウェア更新中
    - ■ OSバージョンアップ中
  - 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
    - ■ 電話中
    - ■ パケット通信中(ストリーミング再生中、データ通信中)
    - ■ ソフトウェア更新中
    - ■ OSバージョンアップ中
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると、専用着信音が鳴る

受信したエリアメールをあとで確認する

1 ステータスバーをタッチ▶受信したエリアメールを選ぶ

- ホーム画面で[⊜]▶[エリアメール]でも確認できます。

- mopera U、ビジネスmoperaインターネット(URL制限)およびspモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。
- エリアメールは50件まで保存できます。
- 端末に保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、受信日時が古いメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[エリアメール]

2 [MENU]▶[設定]▶項目を選ぶ

- ■ 受信設定:エリアメールを受信するか設定します。
- ■ 着信音:鳴動時間、マナーモード中の動作について設定します。
- ■ 受信画面および着信音確認:受信画面および着信音を確認できます。
- ■ その他の設定:利用するエリアメールを設定します。

- 緊急地震速報のブザー音や災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

ブラウザ

サイトの表示

本端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを表示できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ブラウザ]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

サイトの検索

1 ブラウザ画面で検索ボックスをタッチ

2 キーワードを入力

3 検索結果を選ぶ

新しいウィンドウを開く

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[新しいウィンドウ]

- 複数のウィンドウを開いているとき：[MENU]▶[ウィンドウリスト]▶[新しいウィンドウを開く]

ウィンドウの切替

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ウィンドウリスト]

2 ウィンドウを選ぶ

ページ内の文字の検索

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ページ内検索]

2 検索する

1 前を検索
2 次を検索
3 検索終了
4 検索ボックス
- 検索するキーワードを入力します。

文字のコピー

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[その他]▶[テキスト選択コピー]

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更：[◿]／[◺]をドラッグ

3 コピー範囲をタッチ

便利な機能

リンクを新しいウィンドウで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 ブラウザ画面でリンク／画像をロングタッチ

2 利用する機能を選ぶ

ブラウザの再読み込み

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[再読み込み]

ブラウザの終了

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ブラウザ終了]

ブラウザの設定

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[その他]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- 文字サイズ:文字サイズを設定します。
  - ・サイトのレイアウトが崩れる場合があります。
- デフォルトの解像度:ブラウザ利用時の画面の解像度を設定します。
- テキストエンコード:テキストのエンコードを設定します。
- ポップアップをブロック:ポップアップをブロックするか設定します。
- 画像の読み込み:サイトの画像を表示させるかどうか設定します。非表示の場合はサイトの読み込み速度が速くなります。
- ページの自動調整:画面に合わせてサイトの横幅などを自動で見やすい大きさに調整するか設定します。
- JavaScriptを有効にする:JavaScriptを有効にするか設定します。
- プラグインを有効にする:Flashなどのプラグインを有効にするか設定します。
- ピンチ操作で速度を優先:ピンチ操作時の画像処理を粗くして画面切替速度を速くするか設定します。
- バックグラウンドで開く:新しいウィンドウを現在のウィンドウの後ろに開くかどうか設定します。
- ホームページ設定:ホームページを設定します。
  - ・表示しているサイトのURLを入力するときは[現在のページを使用]をタッチします。
- キャッシュを削除:一時的に保存してあるサイトの複製データ(キャッシュ)を削除します。
- 履歴削除:ブラウザの閲覧履歴を削除します。
- Cookieを受け入れる:Cookieの保存と読み取りを許可するか設定します。
- Cookieをすべて削除:保存したCookieをすべて削除します。
- フォームデータを保存:フォームに入力したデータを保存するか設定します。
- フォームデータを削除:保存したフォームデータをすべて削除します。
- パスワードを保存:サイトログイン時に使用したユーザー名とパスワードを保存するか設定します。
- パスワードを削除:保存したパスワードをすべて削除します。

■ セキュリティ警告を表示：サイトの安全性に問題がある場合に、警告を表示するか設定します。
■ ページを全体表示で開く：新しく開いたサイトを全体表示するか設定します。
■ 常に横向きに表示：サイトを常に横向きで表示するか設定します。
■ 位置情報を有効にする：サイトにお客様の現在地情報を提供するか設定します。
■ 位置情報アクセスを削除：サイトに対する現在地情報の提供を許可する設定をすべて削除します。
■ ウェブサイト設定：個々のサイトの詳細設定を表示します。サイトごとに保存したデータを削除することができます。
■ 検索エンジンの設定：検索エンジンを選択できます。
■ ブックマークをリセット：ブックマークをお買い上げ時の状態に戻します。
・お客様が登録したブックマークはすべて削除されます。
■ 初期設定にリセット：ブラウザの設定をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

ブックマークや履歴の利用

ブックマークの登録

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ブックマーク]

2 [★追加]▶[OK]

- リスト表示のとき：[現在のページをブックマーク]▶[OK]

ブックマークからのサイト表示

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

- リスト表示に変更：[MENU]▶[リスト表示]

よく使うサイト／履歴からのサイト表示

1 ブラウザ画面で[MENU]▶[ブックマーク]▶[よく使用]／[履歴]

2 よく使うサイト／履歴を選ぶ

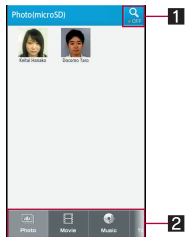
ファイル管理

コンテンツマネージャー

microSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 **ホーム画面で[⊜]▶[コンテンツマネージャー]**

2 **データを選ぶ**

- 対応するアプリケーションがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリケーションが複数インストールされている場合、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。アプリケーションを選択すると表示します。

1 データ検索
- 検索条件を選んで、microSDカード内のデータを検索できます。

2 カテゴリ
- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

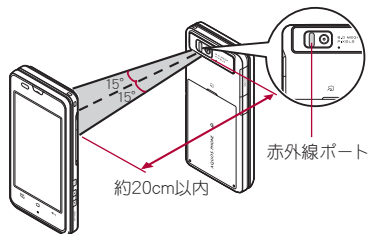
カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	メロディやWMAファイル
TV／SD-Video	端末で録画したビデオやレコーダー連携のデータ
Doc.	Office系データ(.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx、.csv)、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

赤外線通信

赤外線通信の利用

赤外線通信機能を搭載した他の端末などと、データを送受信することができます。

- 電話帳、spモードメール、プロフィール、メモ、スケジュール、ブックマーク、トルカ、カメラで撮影したデータなどを送受信できます。
- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 赤外線送受信機能はIrSimple™規格に対応しています。
- 電波OFF(機内)モード中は赤外線通信できません。
- 全件データの送受信には、ドコモアプリパスワードまたはロックNo.の入力と認証コードの入力が必要になります。認証コードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

赤外線通信のご利用にあたって

- 図のように受信側と送信側の端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

赤外線送受信

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。ただし、1件送受信の場合は、microSDカードが挿入されていなくても利用できることがあります。
- データを送信する場合は、それぞれの機能(メニュー)から操作することもできます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[赤外線送受信]

2 項目を選ぶ

- ■ 受信:1件受信します。
- ■ 全件受信:全件受信します。
- ■ 送信:データを選んで送信します。
- ■ 全件送信:アプリケーションを選んで全件送信します。
- ■ 画像・動画送信設定:画像、動画を送信する際の形式を設定します。
  - 受信操作と送信操作は同時に行ってください。
  - 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約30秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

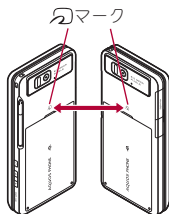
- 全件受信時に[全件削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

ｉＣ通信

ｉＣ通信の利用

ｉＣ通信機能を搭載した他の端末と、データを送受信することができます。

- 次の場合はｉＣ通信ができません。
  - ■ 電波OFF(機内)モード中
  - ■ おサイフケータイ ロック設定中
- 次の場合はｉＣ通信によるデータの送信ができないことがあります。
  - ■ 通話中　■ 充電中
  - ■ イヤホンマイク接続中　■ USB接続中
- spモードメール、メモ、スケジュール、トルカはｉＣ通信で送信できません。これ以外の送受信できるデータについては赤外線通信(☞P.106)と同様です。

ｉＣ通信のご利用にあたって

- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

ｉＣ通信送受信

全件データの送受信には、認証コードの入力が必要になります。認証コードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。また、全件データの送信には、ロックNo.の入力が必要になる場合があります。

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。ただし、１件送信の場合は、microSDカードが挿入されていなくても利用できることがあります。

データを送信

例：静止画のとき

1 ホーム画面で[⊜]▶[コンテンツマネージャー]

2 静止画をロングタッチ▶[共有]▶[ＩＣ送信]

3 相手の端末と マークを重ね合わせる

4 [OK]

データを受信

1 相手の端末と マークを重ね合わせる

2 [OK]

3 ステータスバーをタッチ▶受信したデータを選ぶ

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 電波OFF（機内）モード中はBluetooth機能を利用できません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.3.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3

HFP：Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4

A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）※5

AVRCP：Audio／Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）※5

HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）※6

OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）※7

SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）※8

PBAP：Phone Book Access Profile（フォンブックアクセスプロファイル）※9

※1　端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2　Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※3　端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
※4　端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
※5　端末にワイヤレスイヤホンセット 02（別売）や市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
※6　端末に市販のBluetooth対応キーボードをBluetooth接続すると、キーボードから文字入力できます。
※7　端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
※8　仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
※9　Bluetooth機器に端末の電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- ワイヤレスイヤホンセット 02を接続するときは、端末から接続してください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別にかかわらず、音を聞くことができません。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■電車内　■航空機内　■病院内
  - ■自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth設定

- Bluetooth機能を有効にしてから設定してください。
- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。

1 ホーム画面で［⊜］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］

2 項目を選ぶ

- ■Bluetooth：Bluetooth機能を有効にします。
- ■端末名：端末の名称を変更します。
- ■検出可能：他のBluetooth機器からの検索要求を受けるかどうか設定します。
- ■検出可能時間のタイムアウト：検索要求を受けることができる時間を設定します。
  - ・あらかじめ検出可能を有効にしておいてください。
- ■Bluetooth詳細設定：Bluetooth機能について設定します。
- ■デバイスのスキャン：端末周辺にあるBluetooth機器を検索し、接続相手として端末に登録できます。Bluetooth機器によっては、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
  - ・あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。
- 接続種別は、ペア設定済みのBluetooth機器をロングタッチ▶［オプション...］で変更できます。

- 複数のBluetooth機器と同時に接続できます。ただし、ハンズフリー（ヘッドセット）とオーディオが接続している場合、ハンズフリー通話中はオーディオの音声は流れません。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。

［Bluetooth］について

- Bluetooth機能を有効にすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ検出可能を有効にしてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

[検出可能]について

- 有効にしてから検出可能時間のタイムアウトで設定した時間が経過すると、自動的に無効になります。

[デバイスのスキャン]について

- 相手Bluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「スキャン」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています)。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 [ペア設定する]

- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- Bluetooth接続リクエスト確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth設定画面で登録を解除するBluetooth機器をロングタッチ▶[ペアを解除]/[切断してペアを解除]

Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth設定画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

Bluetooth通信送受信

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。ただし、1件送信の場合は、microSDカードが挿入されていなくても利用できることがあります。

データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面で[⊜]▶[コンテンツマネージャー]

2 静止画をロングタッチ▶[共有]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ

データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーをタッチ▶受信するデータを選ぶ▶[承諾]

3 ステータスバーをタッチ▶受信したデータを選ぶ

- 全件受信時に[全件削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。

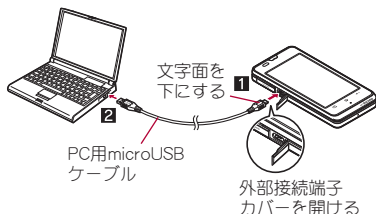
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

外部機器接続

端末とパソコンの接続方法

1 **PC用microUSBケーブル（試供品）の端末側コネクタを端末の外部接続端子に水平に差し込む（1）**

2 **PC用microUSBケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（2）**

- USB接続モードの設定については☞P.84

- USBケーブルは「PC用microUSBケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、PC用microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なOSは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7（いずれも日本語版）です。

microSDリーダーライター

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 **端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する**

2 **ステータスバーをタッチ▶［USB接続］**

3 **［USBストレージをONにする］▶［OK］**

4 **microSDリーダーライターとして利用する**

5 **利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う**

6 **［USBストレージをOFFにする］**

7 **端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

- microSDリーダーライターとして利用中は、電波OFF（機内）モードが有効になります。
- microSDリーダーライターとして利用中は、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用できません。また、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

音楽データ、動画、静止画をパソコンからmicroSDカードに転送します。

- 著作権のあるデータは、パソコンからの転送時に使用した端末以外では再生できません。また、データによっては著作権により再生できないものがあります。
- 著作権のないデータでも、SH-02D以外で保存したデータは再生できません。

1 パソコンのWindows Media Player 11／12を起動する

2 端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する

3 USB接続モード（☞P.84）を[MTPモード]に設定し、MTPアプリケーションを起動する

4 Windows Media Player 11／12の同期リストに保存するデータを登録し、同期を行う

5 転送が終わったら、MTPアプリケーションを終了する

6 端末からPC用microUSBケーブルを取り外す

- MTPアプリケーションを起動中は、電波OFF（機内）モードが有効になります。
- 64文字目（拡張子を含む）まで同じ名前のデータを転送したときは、データが上書きされます。
- 著作権のあるデータのライセンス情報は、microSDカードに保存されます。microSDカードの取り外し、ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

MediaJetを利用する

パソコンにMediaJetをインストールして、端末とパソコンとの間で音楽データ／動画／静止画などを同期させることができます。

MediaJetのインストール

- あらかじめPCソフトインストーラーを有効にしておいてください（☞P.84）。

1 端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する

2 [インストール]

- パソコンでインストールが始まります。以降は画面の指示に従って操作してください。

MediaJetでデータ転送

1 パソコンのMediaJetを起動する

2 端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する

3 ステータスバーをタッチ ▶ [USB接続]

4 [USBストレージをONにする] ▶ [OK]

5 MediaJetを利用する

6 **利用が終わったら、MediaJetでデバイスの取り外しを行う**

7 **[USBストレージをOFFにする]**

8 **端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

ブルーレイディスクレコーダー連携

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーと端末をPC用microUSBケーブル(試供品)で接続し、動画を転送します。ブルーレイディスクレコーダーに接続し、USB接続モード(☞P.84)を[カードリーダーモード]に設定してください。接続方法は、端末とパソコンなどを接続する方法と同様です(☞P.112)。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。

- ブルーレイディスクレコーダーと端末を、PC用microUSBケーブルを使って接続するときは、ホーム画面を表示させておいてください。

ホームネットワーク設定

Wi-Fi通信を利用して、端末またはmicroSDカードの静止画や動画、音楽データを、ホームネットワーク対応のテレビなどで視聴することができます。

- コンテンツマネージャーで管理されている次のデータを公開できます。

データの種別	ファイル形式
静止画※1	JPEG
動画	MP4、3GP(映像コーデック:H.264、音声コーデック:aac)
音楽データ※2	MP3、LPCM(44.1kHz/2ch)、WAV(44.1kHz/2ch)

※1 画像サイズが「4096×4096」より大きい静止画は、表示できません。

※2 WAVファイルはデータ形式がLPCMの場合のみ再生できます。また、LPCMは端末には表示されません。

・それぞれ1000件を超えるデータは公開できない場合があります。

- 公開するデータは、あらかじめmicroSDカードの次のフォルダに格納してください。

データの種別	フォルダ階層
静止画	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥PICTURE
動画	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MOVIE
音楽データ	¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MUSIC、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥SOUND

- ホームネットワークサーバーを利用するにはあらかじめWi-Fi接続が設定されている必要があります。Wi-Fiについては☞P.43

- 本端末が接続可能なテレビの機種については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/dlna/sh-02d.html
- ホームネットワーク対応のテレビから端末に接続する操作方法は、ホームネットワーク対応のテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANアクセスポイントやご使用の環境により、正常に接続できない場合や、使用中に接続が解除される場合があります。その場合は、一度ホームネットワークサーバーを無効にし、再度ホームネットワークサーバーを有効にしてください。
- 正常に接続できない場合は、次のことを確認してください。
  - ■アクセスポイントの設定
  - ■Wi-Fi接続の状態
  - ■接続するホームネットワーク対応機器のネットワークの設定
  - ■ホームネットワーク対応機器のセキュリティソフト／ファイアウォールの設定
  - ■端末のホームネットワーク設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[ホームネットワーク設定]

2 項目を選ぶ

- ■ホームネットワークサーバー：ホームネットワークサーバーを有効にします。
- ■公開ネットワーク：Wi-Fi接続で設定したアクセスポイントから利用するネットワークを設定します。
- ■サーバー名：ホームネットワーク対応のテレビで表示するホームネットワークサーバー名を登録します。

VPN（仮想プライベートネットワーク）

VPNの追加

VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[VPN設定]▶[VPNの追加]

2 VPNの種類を選ぶ

3 VPNを設定する▶[MENU]▶[保存]

VPNの接続

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[VPN設定]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力▶[接続]

VPNの切断

1 ステータスバーをタッチ▶VPN接続中の通知をタッチ

2 接続中のVPNを選ぶ

アプリケーション

カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引いたりすることなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 次の場合、端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。
  - ■ 静止画を連続撮影する
  - ■ 動画を長時間撮影する
  - ■ 長時間カメラを起動する

  しばらくたってからカメラをご利用ください。
- フォーカス設定を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- 撮影時に端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時は手ぶれ軽減撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりするときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠(ExifVer.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- ワンセグ動作中はカメラをご利用になれません。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中は撮影ランプが点滅します。
- 各カメラモード起動中に約3分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了します。未保存のデータは保存され、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

カメラの撮影サイズとズーム倍率

縦表示

- 設定できる撮影サイズとズームできる範囲(倍率)は次のとおりです。

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)
静止画撮影	VGA:480×640	約2.3倍(8段階)
	QHD:540×960	約1.6倍(5段階)
	2M:1200×1600	約2.0倍(7段階)
	フルHD:1080×1920	約1.6倍(5段階)
	8M:2448×3264※	約2.3倍(8段階)

※ ズームを利用すると、最適な撮影サイズに自動で変更します。

横表示

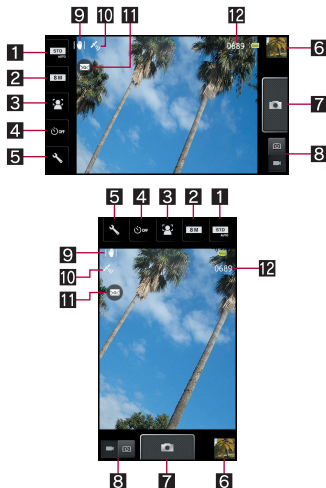
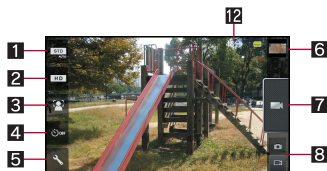
- 設定できる撮影サイズとズームできる範囲(倍率)は次のとおりです。

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)
静止画撮影	VGA:640×480	約2.3倍(8段階)
	QHD:960×540	約1.6倍(5段階)
	2M:1600×1200	約2.0倍(7段階)
	フルHD:1920×1080	約1.6倍(5段階)
	8M:3264×2448※	約2.3倍(8段階)

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)
動画撮影	HD:1280×720	約1.2倍(3段階)
	VGA:640×480	約2.2倍(8段階)
	QVGA:320×240	約3.5倍(12段階)

※ ズームを利用すると、最適な撮影サイズに自動で変更します。

撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

1 シーン設定
- 撮影モードを設定します。

2 撮影サイズ
- 撮影サイズを設定します。

3 フォーカス設定
- フォーカスについて設定します。

4 セルフタイマー
- セルフタイマーについて設定します。

5 各種設定
- 撮影時の各種設定を行います。

6 サムネイル
- 撮影した静止画／動画が保存されると表示されます。タッチすると、撮影した静止画／動画を表示することができます。

7 シャッター

8 カメラ／ビデオカメラ切替
- カメラモードをカメラ／ビデオカメラに切り替えます。

9 手ぶれ軽減

10 位置情報自動付加設定

11 ブログモード

12 撮影可能枚数／撮影残時間
- 撮影をしても、撮影可能枚数／撮影残時間の表示が変わらない場合があります。

カメラ

静止画を撮影します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[カメラ]

- 位置情報についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]/[同意しない]を選択してください。
- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライド
- フォーカスロック:被写体をタッチ
  - ・フォーカス枠以外をタッチすると解除されます。

2 [📷]

- シャッター音が鳴ります。
- 自動保存設定(☞P.119)が[ON]のときは、操作完了となります。

3 [保存]

ビデオカメラ

動画を撮影します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[カメラ]▶[🔧]▶[カメラ切り替え]▶[ビデオカメラ]

- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライド

2 [ビデオ]

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。

3 撮影を止めるときは[□]

- 撮影停止音が鳴り、撮影が停止されます。
- 自動保存設定(☞P.119)が[ON]のときは、操作完了となります。

4 [保存]

- 撮影残時間の表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、残時間があっても撮影が自動的に停止するときがあります。
- 撮影残時間の表示は、microSDカードの空き容量や電池残量によって変わります。

自動保存設定

撮影した静止画や動画を自動的に保存するか設定します。

1 静止画撮影画面で[🔧]▶[保存設定]▶[自動保存設定]

- ビデオカメラのとき:動画撮影画面で[🔧]▶[自動保存設定]

2 設定を選ぶ

読取カメラ

バーコードリーダー

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、読み取った文字の内容に応じて、さまざまな操作を行うことができます。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- JAN 8、JAN13を読み取ることができます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 ホーム画面で[⊜]▶[読取カメラ]▶[切替]▶[バーコード]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 バーコードを読み取る

- バーコードリーダー画面が表示されると、読み取りを開始します。ディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
- バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 読み取り結果をGoogle検索：[検索]
- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 読み取り結果の登録：[MENU]▶[読取データ登録]
  - 登録した読み取り結果は、バーコードリーダー画面で[MENU]▶[読取データ確認]▶データを選ぶと確認できます。
- 読み取り結果のコピー：[MENU]▶[全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

名刺リーダー

カメラを使って名刺（日本語、英語）から名前や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[読取カメラ]▶[切替]▶[名刺]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 ディスプレイの中央に名刺を表示▶[読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるように端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー：[MENU]▶[全コピー]

5 登録するアカウントを選ぶ

- 撮影した名刺画像が自動的に保存されます。

6 [いいえ]

- 登録した電話帳の編集：[はい]▶電話帳を編集

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ

カメラを使って漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。読み取った文字を辞書で検索することもできます。

- ラクラク瞬漢／瞬英ルーペで表示される読みかたや意味は「明鏡国語辞典MX」「ジーニアス英和辞典MX」をもとに表示しています。

1 ホーム画面で[⊜]▶[読取カメラ]▶[切替]▶[瞬漢／瞬英]

2 ディスプレイのルーペ枠内に読み取る文字を表示

- 読み取り結果と読みかたや意味が吹き出しで表示されます。
  - ・読みかたや意味は２個まで表示されます。３個以上ある場合は[etc]が表示されます。
- 読み取った文字を辞書で検索：読み取り結果表示中に[選択]▶[辞書]▶辞書で検索する
- 読み取った文字をGoogle検索：読み取り結果表示中に[選択]▶[検索]

- 読み取り結果は保存されません。
- 傷、汚れ、光の反射、文字サイズなどによっては読み取れないときがあります。

- お買い上げ時は、端末に次の電子辞書が登録されています（電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります）。
  - ■ 明鏡国語辞典MX
    使用頻度の高い現代語を中心に約５万8000語句を収録。
  - ■ ジーニアス英和辞典MX
    英会話や新聞・小説を読むときに便利な英和辞典。約８万9000語句を収録。
  - ■ ジーニアス和英辞典MX
    現代語を中心に約６万9000語句を収録した、本格語数の和英辞典。

  （「明鏡国語辞典MX」 ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009、「ジーニアス英和辞典MX」「ジーニアス和英辞典MX」 ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009）
- お買い上げ時は、ネット辞書「百科事典」を利用できます。

テキストリーダー

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、さまざまな操作を行うことができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[読取カメラ]▶[切替]▶[テキスト]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 ディスプレイに読み取る文字を表示▶[撮影]

- シャッター音が鳴ります。

3 [▲]／[▼]で読み取る行にカーソルを合わせる▶[読取]

- 縦書きの文字を認識した場合：[◀]／[▶]

- カーソルを合わせている行に水色の枠が表示されます。

4 [決定]

- 読み取りモードの変更：[MENU] ▶ モードを選ぶ

5 読み取り結果を利用する

- 読み取り結果のコピー：[全コピー]
- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 続けて文字を読み取る：[MENU] ▶ [続き読取] ▶ 文字を読み取る
- 追加として文字を読み取る：[MENU] ▶ [追加読取] ▶ 文字を読み取る
- 辞書で検索：[MENU] ▶ [辞書検索] ▶ アプリケーションを選ぶ ▶ 辞書で検索する
- 読み取り結果の編集：[MENU] ▶ [編集] ▶ 文字を編集する

● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

お店情報リーダー

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [読取カメラ] ▶ [切替] ▶ [お店情報]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 ディスプレイの中央に情報を表示 ▶ [読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるように端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー：[MENU] ▶ [全コピー]

5 登録するアカウントを選ぶ

- 撮影した画像が自動的に保存されます。

6 [いいえ]

- 登録した電話帳の編集：[はい] ▶ 電話帳を編集

● 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

ピクチャー

画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面で[⊜] ▶ [ピクチャー]

2 カテゴリを選ぶ

- フォルダ別表示／一覧表示の切替：[すべて] ▶ [ ]／[ ]

3 データを選ぶ

4 データを確認する

- スライドショー開始：[ ]

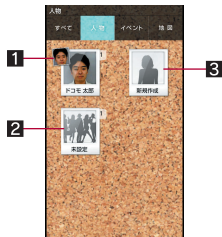
- ファイルが表示されない場合は、ピクチャーのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。microSDカードを挿入した端末とパソコンをPC用microUSBケーブル（試供品）で接続して、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。
- 以前に作成したピクチャーのデータベースファイルがある場合、データベースファイルを変換する旨の確認画面が表示されます。データベースファイルを変換すると、SH-02Dで作成したデータベースファイルは削除されます。

データの振り分け

画像や動画を作成したカテゴリごとに整理できます。

人物ごとに振り分け

1 ピクチャー画面で[人物]

2 [新規作成]

1 設定済みのカテゴリ

2 未設定
- カテゴリが未設定のデータを表示します。新規のカテゴリを作成したり、作成済みのカテゴリに振り分けたりできます。

3 新規作成
- 新規のカテゴリを作成します。

3 分類するデータを選ぶ

4 切り取り部分を選ぶ▶[決定]
- オレンジ色の枠線をドラッグすると、枠を拡大／縮小できます。

5 [人物名を入力する]▶人物名を入力▶[OK]
- [電話帳から名前を設定する]を選択すると、電話帳から選択して人物名を入力できます。

6 分類するデータをロングタッチ▶カテゴリまでドラッグ

イベントごとに振り分け

1 ピクチャー画面で[イベント]

2 [MENU]▶[イベント新規作成]

3 分類するデータを選ぶ

4 [イベント名を入力する]▶イベント名を入力▶[OK]
- [日付を入力する]を選択すると、日付をイベント名に入力できます。

5 分類するデータをロングタッチ▶カテゴリまでドラッグ

場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 ピクチャー画面で[地図]

2 [MENU]▶[場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ▶登録する位置までドラッグ▶[OK]

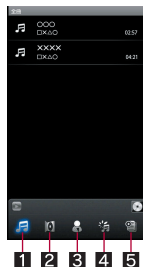
ミュージックプレーヤー

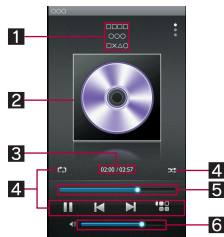
microSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。また、メールやブラウザなどを利用しながらバックグラウンドで音楽を再生することができます。

- 再生できる音楽データのファイル形式は次のとおりです。
  AAC LC/LTP(.3gp、.mp4、.m4a、.isma)、HE-AACv1(AAC+)、HE-AACv2(enhanced AAC+)、AMR-NB(.3gp)、AMR-WB(.3gp)、MP3(.mp3)、MIDI(.mid、.imy、.rtttl、.rtx、.ota)、Ogg Vorbis(.ogg)、PCM/WAVE(.wav)、WMA(.wma、.pya)
- あらかじめミュージックプレーヤーのウィジェットを追加しておいてください(☞P.56)。

1 ホーム画面でウィジェットのジャケット画像をタッチ

2 データを選ぶ

- 再生音量調節:▲/▼
- 着信音に設定:音楽データをロングタッチ▶[着信音に設定する]

1 全曲一覧を表示
2 アルバム別に曲を表示
3 アーティスト別に曲を表示
4 ジャンル別に曲を表示
5 プレイリストを表示

3 音楽を聴く

1 アルバム名/曲名/アーティスト名/ジャンル
2 ジャケット画像
- 表示切替:上下にフリック

3 再生時間／総再生時間

4 操作パネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - 前／次のデータを再生：[⏮]※1／[⏭]
  - 再生／一時停止：[▷]／[⏸]
  - ミュージック一覧画面の表示：[]
  - リピート：[]※2
  - シャッフル：[]

  ※1　再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。

  ※2　[①]が重なって表示されている場合は、1曲のみをリピート再生します。

5 シークバー

- シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

6 音量バー

プレイリストの管理

プレイリストの作成

1 データ一覧画面で[]▶[新規プレイリスト]

2 プレイリスト名を入力▶[はい]

3 作成したプレイリストを選ぶ

4 [追加]▶音楽データを選ぶ▶[適用]

音楽データの並べ替え

1 データ一覧画面で[]▶プレイリストを選ぶ

2 音楽データをロングタッチ▶[上に移動]／[下に移動]

プレイリスト名の変更

1 データ一覧画面で[]▶プレイリストをロングタッチ▶[名前の変更]

2 プレイリスト名を入力▶[はい]

プレイリスト内の音楽データの削除

1 データ一覧画面で[]▶プレイリストを選ぶ

2 [削除]▶音楽データを選ぶ▶[適用]

プレイリストの削除

1 データ一覧画面で[]▶プレイリストをロングタッチ▶[削除]▶[削除]

マーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定してください（☞P.46）。
- あらかじめバックグラウンドデータ（☞P.88）を有効にしてください。

1 ホーム画面で[]▶[マーケット]

- はじめてご利用される際には、「Androidマーケット利用規約」に同意いただく必要があります。
- ヘルプの表示：[MENU]▶[ヘルプ]

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションの購入

- 有料のアプリケーションをダウンロードする場合は、Google Checkoutアカウントを作成してアプリケーションを購入する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選ぶ

2 価格をタッチ▶[同意して購入]

- 無料のアプリケーションのとき:[インストール]/[ダウンロード]▶[同意してダウンロード]
- アプリケーションの初回購入時は、Google Checkout支払い請求サービスにログインする必要があります。

- アプリケーションの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケット画面で[MENU]▶[ヘルプ]▶[アプリケーションの購入]の各項目をご覧ください。

- アプリケーションのインストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Androidマーケットからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションのアンインストール

1 **Androidマーケット画面で[MENU]▶[マイアプリ]**

2 **アンインストールするアプリケーションを選ぶ▶[アンインストール]▶[OK]**

GPS／ナビ

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報サービス([無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用])を有効にする必要があります(☞P.85)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ■ 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ■ 建物の中や直下
  - ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車や電車などの室内
  - ■ 大雨や雪などの悪天候
  - ■ かばんや箱の中
  - ■ 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ■ 端末のカメラ・ワンセグアンテナ・受話口や近接センサー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、位置情報サービス([無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用])を有効にする必要があります(☞P.85)。

1 ホーム画面で[⊜]▶[マップ]

2 マップを利用する

- 画面を回転：2本の指で回転
- 立体的に表示：2本の指でスライド
- 縮小／拡大：[ ]／[ ]
- プレイスの起動：[ ]
- レイヤの利用：[ ]▶項目を選ぶ
- 現在地の測位：[ ]

ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 吹き出しをタッチ▶[ ]

- 表示する方角の変更：画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動：[ ]を移動先までドラッグ
- コンパスモード：[MENU]▶[コンパスモード]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応の場合、[(グレー)]が表示されます。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

場所の検索

1 マップ画面で[MENU]▶[検索]

2 検索する場所を入力

- 住所、地名、施設名などを入力して検索できます。

3 [実行]／[ ]

- 検索結果が地図上にマーカーで表示されます。
- 検索結果が複数ある場合は、[ ]をタッチすると検索結果が一覧表示されます。

4 マーカーをタッチ▶吹き出しをタッチ

経路の検索

1 マップ画面で[MENU]▶[経路]

2 上の検索ボックスをタッチ▶出発地を入力

3 下の検索ボックスをタッチ▶目的地を入力

4 移動手段を選ぶ▶[経路を検索]

5 検索結果を利用する

- 複数の経路が表示された場合は利用する経路を選択してください。
- 地図の表示：[ ]
- ナビの起動：[ ]

ナビ

現在地から目的地までのルートを検索することができます。

- 現在地を測位するためには、位置情報サービス（[無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用]）を有効にする必要があります（☞P.85）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ナビ]

- ナビについての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。

2 項目を選ぶ

- ■ 目的地を音声入力：目的地を音声入力して検索します。
- ■ 目的地を入力：目的地を文字入力して検索します。
- ■ 連絡先：電話帳に登録されている住所を検索します。
- ■ スター付きの場所：マップでスターを付けた場所を検索します。

プレイス

現在地周辺の施設をジャンル別に検索することができます。

- 現在地を測位するためには、位置情報サービス（[無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用]）を有効にする必要があります（☞P.85）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[プレイス]

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

3 目的の施設を選ぶ

Latitude

地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。

- 現在地を測位するためには、位置情報サービス（[無線ネットワークを使用]もしくは[GPS機能を使用]）を有効にする必要があります（☞P.85）。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- Latitudeの詳細についてはヘルプをご確認ください。
  ホーム画面で[⊜]▶[Latitude]▶[MENU]▶[地図を表示]▶[MENU]▶[その他]▶[ヘルプ]▶[Latitude]

1 ホーム画面で[⊜]▶[Latitude]

地図アプリ

地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。

- 現在地を測位するためには、位置情報サービス（[GPS機能を使用]、Wi-Fi利用時には[無線ネットワークを使用]）を有効にする必要があります（☞P.85）。

1 ホーム画面で[⊜]▶[地図アプリ]

トーク

Googleトークは Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントを所有する相手とチャット(文字によるおしゃべり)ができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[トーク]

2 相手を選ぶ

1 チャットへの招待
- 招待状を受け取っている場合に表示されます。
- タッチすると招待を承諾、キャンセル、ブロックできます。

2 画像
- 相手が登録している画像が表示されます。タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 ステータスアイコン
- オンライン状況を表示します。

4 ステータスメッセージ
- 自分の状態の詳細を表示することができます。

5 チャット中の相手

6 モバイルインジケーター
- 端末からログインしているときに表示されます。

3 メッセージを入力▶[送信]

チャット相手の追加

1 ホーム画面で[⊜]▶[トーク]

2 [MENU]▶[友だちを追加]

3 相手のメールアドレスを入力▶[招待状を送信]

ステータスアイコンとステータスメッセージの変更

1 ホーム画面で[⊜]▶[トーク]

2 自分のアカウントを選ぶ

3 ステータスアイコン/ステータスメッセージを変更

1 画像
- 自分の画像を設定できます。

2 ステータスメッセージ

3 カスタムステータス

4 ステータス
- ステータスアイコンを設定できます。

4 [完了]

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

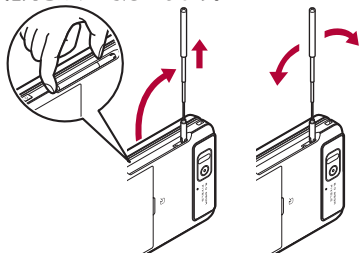
ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ■ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ■ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ■ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグアンテナについて

- ● ワンセグアンテナをご使用の際は、以下の点にご注意ください。
  - ■ ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。
  - ■ ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態や、方向を変える際に無理に力を加えないでください。
  - ■ 収納するときは先端を持って無理に収納しようとせず、止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナを倒して収納してください。

  無理な力を加えると、破損の原因となります。

チャンネル設定

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネル設定されたエリアを１つ選択しておく必要があります。

- エリアは10件まで登録できます。また、1つのエリアには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを十分伸ばしてから行ってください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]

- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネル設定画面が表示されます。
- エリアを追加するとき：ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[その他]▶[チャンネル設定]▶[エリア切替]▶登録先を選ぶ▶[OK]

2 エリアを選ぶ

3 都道府県を選ぶ

4 地域を選ぶ

- 放送局の検索が開始されます。

5 [OK]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためワンセグを利用できません（端末でビデオ録画したワンセグの番組は視聴できます）。

ワンセグテレビ

ワンセグを視聴します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[ワンセグテレビ]

2 ワンセグを視聴する

- 音量調節：[▲]／[▼]

1 映像

- タッチすると番組情報などの表示／非表示を切り替えられます。縦表示中に２回タッチすると画面サイズを変更できます。

- 左右にフリックするとUP／DOWN選局できます。

2 字幕
- 番組によって字幕の有無は異なります。

3 データ放送
- 番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

4 操作パネル
- ワンセグ操作中に表示されるキーで次の操作ができます。
  - UP／DOWN選局：[CH▶]／[CH◀]※1※2
  - 録画開始／停止：[●]／[■]
  - チャンネル切替画面を表示：[CH]
  - 番組表を起動：[▦]※3
  - データ放送操作に切替：[d]※4
  - サーチ選局の中止：[⊗]

  ※1　縦表示中は映像部分に表示されます。
  ※2　ロングタッチするとサーチ選局になります。
  ※3　横表示中のみ操作できます。
  ※4　縦表示中のみ操作できます。
- データ放送操作中に表示されるキーで次の操作ができます。
  - カーソルを上下に移動：[△]／[▽]
  - カーソルを合わせているデータ放送サイトに接続：[✓]
  - データ放送サイトの前ページへ戻る：[←]
  - ワンセグ操作に切替：[TV]
  - 対応する項目を選択：[1]～[9]、[0]、[#]、[*]※

  ※ 表示／非表示はデータ放送によって異なります。

- ワンセグ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- ワンセグ起動中にホーム画面を表示してもワンセグは起動状態となるため、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。

ワンセグ録画

ビデオの保存件数と録画時間の目安

	保存件数	録画時間
microSDカード（32Gバイト）	最大99件	最長約9600分

- 1回あたりの録画サイズは2Gバイト、録画時間は約600分までです。2Gバイトを超えるmicroSDカードを使用し、空き容量があっても、それまで録画したビデオを保存して録画を終了します。
- microSDカードの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 ワンセグ視聴画面で[●]

2 録画を止めるときは[■]
- 録画を終了し、自動的に保存されます。

- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。
- ビデオ録画中に録画／視聴予約を設定した時刻になると、録画／視聴予約が優先されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。

- 本端末はダビング10に対応しておりません。

ワンセグ録画再生

microSDカードに保存されたビデオを再生します。

- ビデオ再生画面の操作は、ワンセグ視聴画面の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を説明します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[ワンセグ録画再生]

2 ビデオを選ぶ

3 ビデオを視聴する

1 操作パネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - ・一時停止／再生：[Ⅱ]／[▶]
  - ・停止：[■]
  - ・早戻し／早送り：[◀◀]／[▶▶]※1
  - ・コマ戻し／コマ送り：[◀Ⅱ]／[Ⅱ▶]※2
  - ・約15秒前の位置にバック／約30秒先の位置にスキップ：[⏮]／[⏭]

※1　タッチするたびに、段階的に速度が上がります。

※2　一時停止中に表示されます。

- 他の機器などで編集（分割）されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。
- ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。

テレビリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[テレビリンク]

- 登録したテレビリンクを表示します。

2 テレビリンクを選ぶ

テレビリンクの削除

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[テレビリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

録画／視聴予約

ワンセグの視聴や録画を予約できます。また、予約の状態や結果などを確認できます。

- 視聴予約・録画予約合わせて50件まで登録できます。
- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[録画／視聴予約]

- 予約の一覧画面が表示されます。

2 [MENU]▶[新規予約]▶[手動で設定]▶[視聴予約]／[録画予約]

- 番組表から予約：[番組表から]▶予約する

3 各項目を設定

1 予約種別
- 視聴予約／録画予約を切り替えます。

2 チャンネル
- チャンネルを設定します。

3 開始日時
- 開始日時を設定します。

4 終了日時
- 終了日時を設定します。

5 番組名
- 番組名を入力します。

6 リピート
- 予約の繰り返しについて設定します。

4 [保存]

- 端末の使用状況やmicroSDカードの空き容量、番組の種類などにより、視聴・録画ができなかったり、途中で録画を終了したりする場合があります。

ワンセグの設定

データ放送やワンセグの自動終了時間について設定できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[ワンセグ]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- 予約お知らせ設定：予約時間を通知する方法を設定します。
- データ放送設定：データ放送について設定します。
- 縦画面サイズ設定：縦表示の画面のサイズを設定します。
- オートオフ時間設定：ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- なめらかフレーム補間：なめらかフレーム補間を利用するか設定します。

[データ放送設定]について

- 通信接続時確認設定を解除すると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[オートオフ時間設定]について

- ビデオ録画中にオートオフを設定した時刻になると、ワンセグ起動前の画面に戻り、録画はバックグラウンドで継続されます。

字幕と音声の設定

ワンセグ視聴中に字幕を表示させたり、音声言語を変更したりすることができます。

1 ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[字幕／音声設定]

2 項目を選ぶ

- ■ 字幕表示：字幕を表示するか設定します。
- ■ 字幕位置：横表示中の字幕の位置を設定します。横表示中のみ設定できます。
- ■ 音声言語：音声言語を設定します。

[字幕表示]について

- 番組によって字幕の有無は異なります。
- [マナーモード連動]のときは、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[YouTube]

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示：[🔍]
- 動画を撮影してアップロード：[🎥]
  - ・アップロードするにはYouTubeアカウントでログインする必要があります。

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ＩＣカードが搭載されており、お店などの読み取り機に端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機に端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。
※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

- 端末の故障により、ＩＣカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉＣお引っこしサービス

ｉＣお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのＩＣカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ｉＣお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
ｉＣお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイの利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトより、おサイフケータイ対応アプリケーションをダウンロードし、設定を行ってください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で[⊜]▶[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。

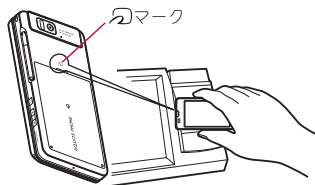
2 サービスを選ぶ

- 次の場合は、おサイフケータイを利用できません。ただし、読み取り機に端末をかざしてのお支払いは利用できます。
  - ■ 電波OFF（機内）モード中
  - ■ 充電中、またはPC用microUSBケーブル（試供品）接続中、またはイヤホンマイク接続中で、ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合

読み取り機にかざす

端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したり、トルカを取得したりすることなどができます。

- 読み取り機にかざすときは、次のことに注意してください。
  - ■ 端末を読み取り機にぶつけない
  - ■ マークと読み取り機を平行にかざす
  - ■ マークはできるだけ読み取り機の中心位置にゆっくりかざす
  - ■ 読み取り機に認識されないときは、マークを前後左右にずらしてかざす
  - ■ マーク面に金属物などを付けない

1 読み取り機に端末の マークをかざす

2 読み取ったことを確認する

おサイフケータイ ロック設定

おサイフケータイの機能をロックします。

- ロックを解除する場合も同様の操作を行います。

1 サービス一覧画面で[MENU]▶[おサイフケータイ ロック設定]▶[次へ]

2 ロックNo.を入力▶[OK]▶[OK]

トルカ

トルカとは、端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリケーションに保存され、「トルカ」アプリケーションを利用して表示、検索、更新ができます。

トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[トルカ]

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - ■ 読み取り機からの取得
  - ■ 更新
  - ■ トルカの共有
  - ■ microSDカードへの移動、コピー
  - ■ 地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。

- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ(詳細)取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

時計

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

- 世界時計は10件まで表示できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[時計]▶[世界時計]

2 [追加する]▶都市を選ぶ

- サマータイムの切替:都市をロングタッチ▶[サマータイム切り替え]
- 都市の削除:[MENU]▶[削除]▶都市を選ぶ▶[実行]▶[はい]

- サマータイムに切り替えた都市には、[☀]が表示されます。

アラーム

指定した時刻・曜日に、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- アラームは10件まで登録できます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[時計]▶[アラーム]

- アラーム音量の設定:[MENU]▶[設定]▶[アラーム音量]▶音量を調節▶[OK]
- アラームの優先設定:[MENU]▶[設定]▶[優先設定]▶設定を選ぶ

2 登録先を選ぶ

3 各項目を設定

1 名称
- 名称を入力します。

2 アラーム設定
- アラームの有効／無効を設定します。

3 時刻
- アラームが鳴動する時刻を設定します。

4 鳴動時間
- アラームが鳴動する秒数を設定します。

5 繰り返し
- 繰り返しを設定します。

6 アラーム音
- アラーム音を設定します。

7 スヌーズ設定
- スヌーズの有効／無効を設定します。

8 スヌーズ間隔
- スヌーズの間隔を設定します。

9 スヌーズ回数
- スヌーズの回数を設定します。

10 バイブレータ設定
- バイブレータの有効／無効を設定します。

- アラームの優先設定が[マナー優先]になっている場合、アラームの鳴動はマナーモードに従います。
- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中は、アラーム設定時刻になってもアラームが動作しません。通話を終了し、通話前の画面やホーム画面に戻ると、アラームが動作します。
- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、アラーム鳴動を遅延します。1つ目のアラーム鳴動が停止、または鳴動時間を過ぎると、遅延されていたアラーム鳴動が再開されます。

アラーム鳴動画面の見かた

1 アラーム終了
- 右にドラッグするとアラームを終了できます。

2 アラーム停止
- 左にドラッグするとアラームを停止できます。スヌーズは動作します。
- スヌーズ設定を有効にしているときのみ操作できます。

ストップウォッチ

1 ホーム画面で[⊜]▶[時計]▶[ストップウォッチ]

2 [スタート]

- ラップタイム、スプリットタイムの記録：[ラップ]

3 [ストップ]

- 計測した時間、履歴のリセット：[リセット]

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 時計を終了した場合は、計測した時間、履歴はリセットされます。

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面で[⊜]▶[時計]▶[タイマー]

2 設定時間をタッチ▶時間を入力▶[OK]

- [10秒]／[1分]／[5分]／[10分]をタッチすると、設定時間に10秒／1分／5分／10分が足されます。
- 設定時間を00分00秒に戻す：[リセット]

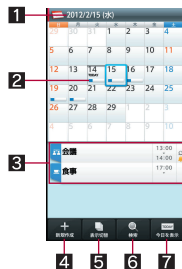
3 [スタート]

- カウントダウンの取消：[リセット]
- カウントダウンの停止：[ストップ]

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリケーションです。

1 ホーム画面で[⊜]▶[スケジュール]

2 スケジュールを確認する

1 選択している日付、祝日名
2 登録されているスケジュール
3 選択している日のスケジュール
4 新規作成
- スケジュールの登録方法は、メモの作成方法と同様です（☞P.142）。

5 表示切替
- カレンダーの表示方法を切り替えます。

6 検索
7 今日を表示

スケジュールの設定

1 カレンダー画面で[MENU]▶[その他]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- ■「今日の予定」お知らせ設定：指定した時間に当日のスケジュールを知らせるよう設定します。
- ■アラーム：アラームについて設定します。
- ■起動画面：スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- ■開始曜日：カレンダーの開始曜日を設定します。
- ■誕生日データ更新：電話帳に登録されている誕生日を反映します。
- ■アカウント変更：スケジュールを作成するときに利用するアカウントを設定します。

スケジュールの削除

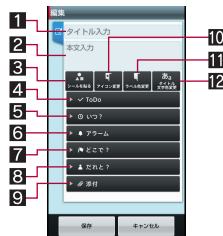
1 カレンダー画面でスケジュールをロングタッチ

2 [1件削除]▶[削除する]

メモ

メモを作成・管理できるアプリケーションです。

1 ホーム画面で[⊜]▶[メモ]▶[新規作成]

2 各項目を設定

1 タイトル

2 本文

3 シールを貼る
- ● メモを楽しくデコレートするようなシール（絵文字／デコメ絵文字®）を貼り付けたり、はがしたりできます。

4 ToDo

5 いつ？

6 アラーム

7 どこで？

8 だれと？

9 添付
- ● 静止画を添付できます。

10 アイコン変更

11 ラベル色変更

12 タイトル文字色変更

3 [保存]

電卓

1 ホーム画面で[⊜]▶[電卓]

2 計算する

- 電卓を終了すると、メモリは削除されます。
- バックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

microSDバックアップ

SH電話帳、SMSなどのデータやおすすめ・コミュニケーションデータが、一括してバックアップ／復元されます。

- microSDバックアップ中は電波OFF（機内）モードが有効になります。
- 端末のメモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDバックアップを利用できません。
- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

おすすめ・コミュニケーションデータについて

- おすすめ・コミュニケーションデータとは、アプリケーションの表示順や履歴データ、「SH電話帳」アプリケーションに表示されるTwitterやmixiなどのコミュニケーションデータです。

バックアップファイルの保存

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]

2 [保存]▶ロックNo.を入力▶[OK]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

4 [開始]▶[はい]

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

バックアップファイルの読み込み

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]

2 [読み込み]▶ロックNo.を入力▶[OK]

3 読み込むバックアップファイルを選ぶ

4 [追加登録開始]／[上書登録開始]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。

バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]▶[設定・管理]

2 項目を選ぶ

- バックアップファイルの整理：保存されているバックアップデータを削除できます。
- SH電話帳画像バックアップ：SH電話帳データをバックアップするとき、画像を含めるか設定できます。

■ 結果画面閲覧：最新のバックアップファイルの保存／読み込みの結果を表示します。
■ おすすめのバックアップ：端末のメモリの空き容量がなくなったとき、おすすめ・コミュニケーションデータを自動的にバックアップするか設定します。
■ SH電話帳との関連付け：コミュニケーションデータとSH電話帳データを関連付けします。

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を２種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイトをご覧ください。
  http://id-credit.com/

Smart Familink

端末とホームネットワーク機能対応テレビ「AQUOS」をWi-Fiネットワークにつなぐことで、端末内の動画・静止画・音楽などを「AQUOS」で視聴したり、端末の着信や新着メールの情報を「AQUOS」に表示したりすることができます。
また、ホームネットワーク機能対応の「AQUOSブルーレイ」をWi-Fiネットワークにつなぐことで、「AQUOSブルーレイ」で録画したテレビ番組を端末で視聴することができます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[Smart Familink]

- 吹き出しをタッチするとSmart Familinkの活用例を見ることができます。
  - 前の画面に戻る：[⊗]

2 [設定してみましょう]

- 設定ガイダンスに従って操作してください。手順をタッチすると、設定するメニュー項目の画面や接続方法が表示されます。
  - Wi-Fi設定については☞P.43
  - ホームネットワークサーバー設定については☞P.114

3 [メニュー画面へ]

- 以降の操作方法は、テレビやブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

対応エリアについて

本端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- ■『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
- ■ドコモの「国際サービスホームページ」

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM／GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングを有効にしてください(☞P.147)。

※2 GPS測位(現在地確認)を行うとパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、FOMA海外兼用ACアダプタ 01(別売)またはFOMA ACアダプタ02(別売)をご利用ください。
- 付属のワイヤレスチャージャー SH01は、海外ではご利用になれません。

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。

- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を「開始」にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

通信事業者（☞P.148）を［自動選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

通信事業者を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

3G／3G	:3G通信中／使用可能
G／G	:GSM通信中／使用可能

- 国際ローミング中は電波マークの左上に［R］が表示されます。

- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます。

日付と時刻について

日付と時刻の［自動］を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☞P.92

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワークモードを[3G／GSM(自動)]に設定してください(☞P.147)。
- 通信事業者を[自動選択]に設定してください(☞P.148)。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

- ■ データ通信を有効にする:データ通信を有効にします。
- ■ データローミング:データローミングについては☞P.147
- ■ ネットワークモード:ネットワークモードについては☞P.147
- ■ アクセスポイント名:アクセスポイントを設定します。
- ■ 通信事業者:通信事業者については☞P.148

データローミング

ローミング時にデータ通信を利用するか設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[データローミング]

ネットワークモード

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]

2 項目を選ぶ

- ■ 3G／GSM(自動):利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- ■ 3G:3Gネットワークを利用します。
- ■ GSM:GSM／GPRSネットワークを利用します。

通信事業者

ネットワークを検索して利用する通信事業者を設定します。

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]

- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索:[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択:[自動選択]

- ネットワークの検索が行われない場合は、[データ通信を有効にする]を無効にしてください(☞P.147)。
- 海外で通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後に[自動選択]に設定してください。

滞在先で電話をかける/受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶[📞]

- 電話番号を入力▶[MENU]▶[国際電話発信]▶国番号を選んでも国番号を入力できます。
  - 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力▶[📞]

3 [変換後の番号で発信]

国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[通話設定]▶[海外設定]▶[国際ダイヤルアシスト]

2 項目を選ぶ

- ■ 自動変換機能:国際ダイヤルアシストを利用して電話をかけるか設定します。
- ■ 国番号:国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国番号を設定します。
- ■ 国際プレフィックス:国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国際プレフィックスを設定します。

滞在国内に電話をかける

滞在国で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 ホーム画面で[⊜]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶[📞]

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

付録／索引

オプション品・関連機器のご紹介

端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1※2／02※1※2
- 電池パック SH32
- リアカバー SH57
- 車内ホルダ 01
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01※3
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01※3
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA DCアダプタ01※2／02※2
- FOMA乾電池アダプタ 01※2
- キャリングケース 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- ポケットチャージャー 01
- ワイヤレスチャージャー SH01
- ワイヤレスチャージャー 01

※1　ACアダプタでの充電方法については、P.33をご覧ください。
※2　FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01を接続してご利用ください。
※3　FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02を接続してご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.158）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.32
● 電池切れになっていませんか。	P.33

充電

充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.32
● アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.36
● アダプタと端末が正しくセットされていますか。	P.36

● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタや付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01、端末がしっかりと接続されていますか。	P.36
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.33
付属のワイヤレスチャージャーで充電できない(チャージインフォメーションが点灯しない)	
● 専用ACアダプタを使用していますか。	P.35
● 専用ACアダプタの電源プラグ、コネクタが奥まで確実に差し込まれていますか。	P.35
● ワイヤレスチャージャーと端末や電池パックの間に異物がありませんか。	P.35
● 充電完了またはほぼ充電完了しています。	P.35
● 端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いていますか。	P.35
● 端末や電池パックを正しい向きに置いてください。	P.35
ワイヤレスチャージャーで充電できない(チャージインフォメーションが早い点滅をする)	
● 専用ACアダプタを使用していますか。または異常がありませんか。専用ACアダプタを使用しても状態が変わらない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に差し込み直してください。	―
● ワイヤレスチャージャーと端末や電池パックの間に異物がありませんか。	P.35
● 端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いてください。	P.35
ワイヤレスチャージャーで充電できない(チャージインフォメーションがゆっくり点滅(約2秒点滅)をする)	
● 端末や電池パックの温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃~35℃の場所で端末や電池パックをしばらく置いてから充電してください。	―
ワイヤレスチャージャーでの充電時間が長い	
● 充電する場所の温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃~35℃の場所で充電してください。	―

端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.33
電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	P.34
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.34

電池パックの問題	
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.34

電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	−

タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	
● 端末の電源が切れていませんか。	P.38

タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	
● 端末に大量のデータが保存されているときや、端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.89

ドコモminiUIMカードが認識しない	
● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.29

時計がずれる	
● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動で時刻を補正するように設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.92

端末動作が不安定	
● ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ・セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ● セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまで◙を押し続けてください。 ・セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]／[Safe mode]と表示されます。 ・セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 ● 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ● お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ● セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	−

通話

タッチしたり、キーを押したりしても発信できない	
● ロック設定の音声発信制限を設定していませんか。	P.85

● 電波OFF（機内）モードを設定していませんか。	P.81
着信音が鳴らない	
● 着信音量を「0」にしていませんか。	P.82
● 公共モード、電波OFF（機内）モード、マナーモードを起動していませんか。	P.77 P.81 P.83
● 着信拒否を設定していませんか。	P.81
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。	P.73 P.75
通話ができない（場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。	P.29 P.32 P.38
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[▂▄▆█]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	－
● 着信拒否など着信制限を設定していませんか。	P.81
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－

画面

ディスプレイが暗い	
● バックライト点灯時間を短く設定していませんか。	P.83
● 画面の明るさを変更していませんか。	P.84
● 画面の明るさの自動調整を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。	P.84
● ベールビューを設定していませんか。	P.83

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
● 通話音量を変更していませんか。	P.68

メール

メールを自動で受信しない	
● メールのアカウント設定で受信トレイの確認頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。	P.97

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。	P.118
● カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	P.116

ワンセグ

ワンセグの視聴ができない	
● 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	P.131
● チャンネル設定をしていますか。	P.132

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したりすると、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。	P.136
● おサイフケータイ ロック設定を行っていませんか。	P.138
● 端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.138

海外利用

海外で端末が使えない（電波マークが表示されている場合）	
●「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のお申し込み状況をご確認ください。	P.145

海外で端末が使えない（[ ]が表示されている場合）	
● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。	P.145
● ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 ネットワークモードを[3G／GSM（自動）]に設定してください。 通信事業者を[自動選択]に設定してください。	P.147 P.148
● 端末の電源をOFFにしたあと、再びONにすることで回復することがあります。	P.38

海外でデータ通信ができない	
● データローミングを有効にしてください。	P.147

海外で利用中に、突然端末が使えなくなった	
●「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	P.145

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.149

データ管理

データ転送が行われない	
● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.112
microSDカードに保存したデータが表示されない	
● microSDカードを取り付け直してください。	P.30

Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
● Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.110

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で端末から発信できない	
● 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.38

エラーメッセージ

端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

[SIMカードを挿入／再確認してください。]

● ドコモminiUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.29

[xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]

● 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。

[応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]

● メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

[このコンテンツを再生する権限がありません]

● 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

[製造番号を通知しますか？]

- ワンセグ視聴中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末とドコモminiUIMカードの製造番号が送信されます。

[接続できません]

- 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。

[送信できませんでした]

- SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
- メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

[モバイルネットワークが利用できません。]

- 有効なネットワークモードに設定されているかご確認ください。☞P.147

[ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]

- 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

[ロックNo.を入力してください]

- 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。ロックNo.を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
- ロックNo.の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- 端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■火災・けが・故障の原因となります。
  - ■改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定などの情報は、端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■使用箇所:スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- 端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

SH-02Dのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
- ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

  自動更新:新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

  即時更新:更新したいとき、すぐに更新を行います。

  予約更新:アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、端末に登録された電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のSH-02Dの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■通話中・圏外にいるとき
  - ■国際ローミング中
  - ■電波OFF（機内）モード中
  - ■Wi-Fiネットワークとの接続中
  - ■Wi-Fiテザリング中
  - ■USB接続時のマウント中
  - ■OSバージョンアップ中
  - ■MTP接続中
  - ■日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ■ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが４本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。]と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、[書換え処理が開始できません。フル充電後に再度更新を実行して下さい。]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
  ※ ソフトウェアダウンロード中はSMSの受信は可能ですが、メールアプリを起動するとダウンロードは中断されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-02D固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
  ※ ソフトウェアダウンロード中は視聴予約アラームが動作すると、視聴が開始され、ダウンロードは中断されます。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新を行う。]に設定されています。
書換え可能な状態になるとお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
お知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、お知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)は消去されます。
書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が[自動で更新を行わない。]になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

1 **ホーム画面で[㊂]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]**

2 **ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ**

- 自動でソフトウェア更新をするとき：[自動で更新を行う。]
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：[自動で更新を行わない。]

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ホーム画面にお知らせアイコン[㊦]（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 **ホーム画面でお知らせアイコン[㊦]（ソフトウェア更新有）**

2 書換え方法を選ぶ

■ OK:設定時刻になると書換えを開始します。
■ 開始時刻変更:開始時刻変更については☞P.165「予約更新」の操作 1 へ
・アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。
■ 今すぐ開始:今すぐ開始については☞P.163「すぐにソフトウェアを更新」の操作 1 へ
・書換えを開始します。
・書換えが完了するとお知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。

- お知らせアイコンは、一度確認すると消えます。

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ホーム画面にお知らせアイコン[⊕](ソフトウェア更新有)が表示されます。

即時更新

1 ホーム画面で[⊜]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。

2 [OK]

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

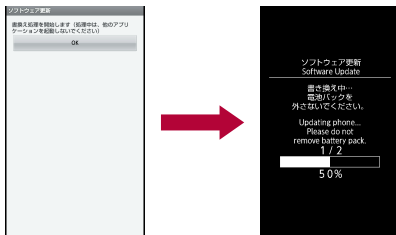
3 ホーム画面が表示

- ステータスバーに[☑]が表示されます。[☑]は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新

1 [今すぐ開始]

2 [書換え処理を開始します]▶[OK]

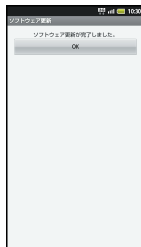
- [書換え処理を開始します]の表示が約3秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのキー操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
- 自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのキー操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約５秒後に自動的に再起動します。

4 お知らせアイコン[☑]（ソフトウェア更新が完了しました。）

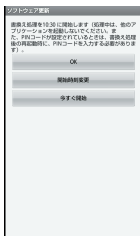
- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ホーム画面に更新が完了したことを表すお知らせアイコン[☑]（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。お知らせアイコン[☑]（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

ソフトウェア更新終了後の表示について

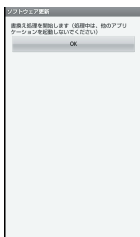
ステータスバーに[☑]が表示されます。[☑]をタッチすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

予約更新

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 ［開始時刻変更］

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、SH-02Dの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力▶［OK］

- 時刻を設定します。

予約した時刻になると

1 ［書換え処理を開始します］▶［OK］

- ［書換え処理を開始します］の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときSH-02Dの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

OSバージョンアップ

端末のOSバージョンアップを行うことができます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。
- Wi-Fi経由でバージョンアップを行う場合は、あらかじめWi-Fi機能を有効にしておいてください（☞P.81）。

1 ホーム画面で［⊜］▶［設定］▶［端末情報］▶［メジャーアップデート］▶［アップデート実行］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

主な仕様

本体

品名	SH-02D
サイズ	高さ約121mm×幅約57mm×厚さ約14.5mm（最厚部：約15.0mm）
質量	約155g（電池パック装着時）
連続通話時間※1※2※3	FOMA／3G 約310分 GSM 約380分
連続待受時間※2※3※4	FOMA／3G 静止時：約560時間（ネットワークモード：3G／GSM（自動））※5 GSM 静止時：約460時間（ネットワークモード：3G／GSM（自動））※5
ワンセグ視聴時間※3※6	約390分
充電時間	ACアダプタ：約240分 DCアダプタ：約240分 ワイヤレスチャージャー SH01：約240分
ディスプレイ	方式 NewモバイルASV液晶 262,144色 サイズ 約3.7inch 画素数 518,400画素（横540×縦960ドット）
撮像素子	種類 CMOS※7 サイズ 1/3.2inch
カメラ部	有効画素数 約800万画素 記録画素数（最大時） 約800万画素 ズーム（デジタル） 最大約2.3倍（静止画）／最大約3.5倍（動画）
記録部	静止画記録枚数 約25000枚（microSDカード（2Gバイト）保存時）※8 静止画連続撮影 VGA：50枚／QHD：22枚／HD：18枚 静止画ファイル形式 JPEG 動画録画時間 1件あたり最大約90分（microSDカード（2Gバイト）保存時）※9 動画ファイル形式 MP4
音楽再生	連続再生時間 WMA（バックグラウンド再生対応）：約2430分 MP3（バックグラウンド再生対応）：約2340分
動画再生	連続再生時間 WMV：約560分
保存容量	約307Mバイト※10
無線LAN	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）準拠

※1　連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※2　データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、ワンセグ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話（通信）と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
※3　電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなったりする場合があります。
※4　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。
※5　電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※6　ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
※7　CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。
※8　撮影サイズ：VGA（640×480ドット）／画質：ノーマル／ファイルサイズ：65Kバイト
※9　撮影サイズ：VGA（640×480ドット）／ファイルサイズ制限：2Gバイト／画質：ノーマル／種別：画像＋音声
※10　メモリを共有するアプリケーションの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

電池パック

品名	電池パック SH32
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	1370 mAh

ワイヤレスチャージャー

	ワイヤレスチャージャー SH01	専用ACアダプタ
入力	DC12V 600mA	AC100-240V 50-60Hz 18-24VA
出力	最大 5W	DC12V 600mA
寸法	138×90×19mm	70.5×30.5×45.0mm（突起部、コード含まず）
質量	約140g	約120g
使用温度	5℃～35℃	5℃～35℃
規格	WPC準拠	－

撮影／保存できる目安

撮影枚数／撮影時間は、2Gバイトのmicro SDカードに保存したときの目安です。2Gバイトのmicro SDカードに他の画像などが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

静止画の撮影枚数

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
VGA：640×480	約25000枚	約20000枚	約17000枚
QHD：960×540	約20000枚	約12000枚	約10000枚
2M：1600×1200	約7300枚	約4100枚	約2800枚
フルHD：1920×1080	約6500枚	約3900枚	約2600枚
8M：3264×2448	約1356枚	約1000枚	約710枚

動画の撮影時間

2Gバイトのmicro SDカードの1回あたりの連続撮影時間

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
HD：1280×720	約45分	約45分	約44分
VGA：640×480	約90分	約90分	約90分
QVGA：320×240	約90分	約90分	約90分

2Gバイトのmicro SDカードの合計撮影時間

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
HD：1280×720	約86分	約66分	約44分
VGA：640×480	約270分	約173分	約129分
QVGA：320×240	約1731分	約1204分	約648分

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-02Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.477W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※２）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※１　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

※２　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年３月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.403 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

This declaration relates to the handset only.

CE0168ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-02D is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.348 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.460 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00160.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-02D mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.477 W/kg. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your ear. This mobile phone satisfies the international guidelines when used with a carrying case or a wearable accessory approved by NTT DOCOMO, INC. (*2). In case you are not using the approved accessory, please use a product that does not contain any metals, and one that positions the mobile phone at least 1.5 cm away from your body.
The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/index02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
SHARP Corporation Website:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Regarding the method of measuring SAR when using mobile phones in positions other than against the ear, international standards (IEC62209-2) were set in March of 2010. On the other hand, technical regulation is currently being deliberated on by national council (As of October, 2011).

CAUTION

Use only the battery packs and adapters (including charger micro USB adapter) specified by NTT DOCOMO for use with the handset.

May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire.

The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.

May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 40°C (for temperatures of 36°C or higher, such as in a room with a bath, limit usage to a short period of time) and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website.
  NTT DOCOMO website:
  http://www.nttdocomo.co.jp/english/

Loss or theft of handset or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-02D, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", touch "0" for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-02D, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", touch "0" for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「mopera」、「mopera U」、「デコメール®」、「デコメ絵文字®」、「ｉアプリ」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「ｉＣお引っこしサービス」、「ケータイお探しサービス」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「spモード」、「声の宅配便」、「あんしんスキャン」、「eトリセツ」、「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

micro SD HC ™

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび FONT LC ® は、シャープ株式会社の登録商標です。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

G-GUIDE MOBILE

- OBEX™、IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
  この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
  この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
  この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.
- 「らくらく瞬漢ルーペ®」、「ラクラク瞬英ルーペ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  *新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
- 「Qi」および マークは、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。
- 「AQUOS」、「AQUOS PHONE」、「ベールビュー」、「VeilView」、「ファミリンク」、「FAMILINK」、「MediaJet」、「エコ技」、「AQUOS PHONE」ロゴ、「エコ技」マークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - ■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerおよび Adobe Reader® for Android OS テクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Flash、Adobe ReaderおよびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  再生するコンテンツによってはFlash Player の最新版が必要になる場合があります。

- Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。
  (i) ソフトウェアを複製、頒布しないこと。
  (ii) ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。
  (iii) ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。
  (iv) ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。
  (v) ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。
- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Google、Google ロゴ、Android、Android マーケット、Gmail、Google マップ、Google トーク、Google マップ ナビ、Google Latitude、Google プレイス、Google 音声検索、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。
  The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
  hts_engine API developed by HTS Working Group
  http://hts-engine.sourceforge.net/

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード（☞P.83）

本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード（電源OFF）（☞P.77）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ（☞P.82）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（☞P.81）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.73）、転送でんわサービス（☞P.75）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600** *（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-02Dからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は「０」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151** *

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
＜ネットワークオペレーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414** *（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-02Dからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は「０」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600** *

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'11.11（1.1版）
11L TU192①